滿洲日報

（日刊）

昭和六年十一月二十四日　火曜日　第九千八百七十號　（一）

（明治四十年十一月二十五日第三種郵便物認可）

廣告料　普通一行　金一圓三十錢　特別一行　金二圓六十錢　場所指定　二割以上加算

大連越後町四十四番　電話三六八九一番

協力內閣運動の波紋
安達內相の聲明から
政界の微妙なる動き

【東京特電二十三日發】安達內相の聲明書は政府與黨は勿論各方面にセンセイションを起し二十二日若槻首相は町田、櫻內、小泉、井上、田中、原各相と會見種々意見の交換を行ひ現狀の儘進む事になつたが二十三日首相は午前午後に亘り富田、鰐母木、山道、永井各氏を個々に招致し難局打開に向ひ政府與黨一致結束邁進したいと自己の決意を披瀝し反省と協力の下に何れも若槻首相の決意を了承したので**表面內相聲明問題は一段落を遂げたが安達內相をめぐる一派は依然持論を放棄せず**と觀られ安達內相の今後の態度は非常に注目されてゐる

【東京二十三日發】若槻首相と安達內相との會見で當座の諒解出來た樣だが**安達內相は私邸を作戰本部として積極行動を執らんとしつゝあり**若槻首相及び黨出身閣僚と安達內相の對立愈々甚だしく**閣內の不統一は救ひ難き危機を招きつゝある**若槻首相は飽く迄現內閣で突き進む方針であり斯くては安達內相もこの儘に引下がるわけに行かず結局**若槻首相の決意も如何ともする能はず現內閣は此の機會において終焉を見るものと觀らるゝに至つた**

安達內相は辭職か

【東京二十三日發】政界の一部殊に貴族院方面では安達內相は聲明書問題に關聯して辭職すべしと見てゐる安達內相が內閣の異端者となつた以上他の閣僚との折合上辭職は免れまい、內相として辭意を表明せば內閣の瓦解は免れまいと見られてゐる

首相とは懇談濟み
安達內相聲明を裏書

【東京二十三日發】安達內相の聲明書に就き二十二日首相、內相の會見あり內相は國民內閣に向つての行動は之以上積極的にやらぬとの諒解を與へたに拘らず本日午後內相は左の如き說明を試み聲明の裏書を爲し首相に對する挑戰的態度を採つた、これに依り政局は更に紛糾を見るものと見らる

協力內閣の提唱は大演習出發前に既に首相と二日間に亘り懇談した處である我輩の信念は毫しも變らない、この重大な時期に當つて協力內閣に反對するものは愛國心のない者と謂ふべきだ昨日首相と會見の折首相は協力內閣は主義として贊成であるが其の實現は困難と言はれた、勿論其の實現は困難を伴ふは免かれぬが愈々其の實現可能であるか不可能であるかは今後の問題である

と語つたが內相は運動繼續の積りであるまた二十二日夜鈴木喜三郎氏と會見した三木武吉氏は二十三日安達內相、小笠原長幹伯等を歷訪し時局收拾に就き積極的行動を開始した、卽ち三木、鈴木氏の會見で鈴木氏は協力內閣を拒絕せる爲め三木氏は二十三日の歷訪で會見顚末を報告し內相の自重を促したこれに對し安達內相は貴下の情報と別個のものが自分の手許に在る、自分は不可能とは思はぬがこの儘で時局を收拾し得ば自說は固持せぬと暗に若槻內閣の行詰りを仄めかした

中堅組實現に努力
兩三日形勢を見た上

[illegible]やう何れにせよ兩三日形勢を見[illegible]に一致した、依つて中野、[illegible]氏は前後して安達內相を訪[illegible]策を協議した

所謂『現狀維持』の裏
政友會の出方一つ

【東京二十三日發】廿二日午後における若槻、安達兩相の會見後總理大臣官邸に參集した黨出身閣僚は若槻首相より安達內相はこの際積極的行動を採らざることにしたとの報告を受けたがこの結果安達內相と若槻及び五閣僚側に大なる喰違ひあることを發見された、若槻首相及び五閣僚は

安達內相は協力內閣に對し積極的に行動することはないと認め若し若槻內閣が協力內閣實現不可能とこの儘押進む時は安達內相もこれに從ふ

と述べてゐるがこれに對し安達內相は

自分は若槻首相より協力內閣實現は不可能だと聞いたがこの儘押進めば自分はこれに追隨するといふやうなことは云はなかつた、將來協力內閣問題につき積極行動をしないといふことも云はなかつた

といつてをり双方反駁し益々疑惑的となり閣內不統一となつた、かくて若槻、安達兩相の會見で現狀維持で進むに一致したとは言へ安達內相としては重大決意を以て茲に出たもので暫く政友會の出樣を見て善處せんとする意向と見らる政友會も內相の聲明に大旋風を捲き起してゐるから模樣を見た上で若し政友會側がこれに應ぜんとする意向を示し來らば安達、犬養兩氏の會見が行はるべく目下政友會側の態度如何で聯立內閣成立に急轉するかも知れないとみられてゐる、與黨內においても善處策が講ぜられ急進派の中野正剛氏等は十一時私邸に安達內相を訪ひ今後の方策につき協議する處あつたが幹部は二十四日の幹部會で政局の不安一掃に就き方策を講ずると共に黨出身閣僚としても近く安達內相を中心に隔意なき諒解に努め一致善處する意向である

江木前鐵相歸京
今後の行動注目さる

【東京二十三日發】安達內相の投じたる聲明書の一石は俄然政局に一大衝動を與へ今や現內閣の重大なる危機を孕みその運命を氣遣はれるに至つたが先月中旬以來病氣保養と稱し九州の各溫泉地を巡り靜かに瀨治しつゝあつた前鐵相江木翼氏は廿一日夜窃に歸京したが[illegible]

政友會は反對意嚮
成立は結局不可能なりとみて
交涉があつても拒絕

【東京二十三日發】現下の政局に對し政友會は時局の重大性に鑑み一切の策動を排し只管靜觀自重の態度を持する事となつた、而して協力內閣に對しては犬養總裁以下首腦部は反對の意向を有し直接交涉あるも成立不可能と見て拒絕する事となつてゐる、從來安達一派と通ずると見られた黨內の一部も單獨內閣說に合流し擧黨一致時局に善處するに努めてゐる

久原幹事長談

【東京二十三日發】政友會の久原幹事長は二十二日午前興津に西園寺公を訪ひ午後四時十五分東京に歸着したが直に犬養總裁を訪ひ會見顚末を報告した久原幹事長は語る

老公を訪ふたのは時局に關し黨の方針を述べると云ふ意味ではなかつた、安達君が協力內閣を希望しても我が黨にどんな話を持掛けるか正式の交涉を受けなければ何とも贊成する譯には行かぬ、安達君としては隨分思ひ切つたやり方で確信がなければやれない、我黨としては時局の推移を靜觀して意見がましいことは發表しない

問題にならぬ
井上藏相談

【東京二十二日發】若槻首相邸に於ける六相會議後井上藏相は語る

[illegible]

聲明問題解決

【東京廿三日發】若槻首相は二十三日午前八時三十分私邸に山道幹事長を招き

力強い協力內閣が良いと言はれば自身はこれをこばまない然し實際問題として至難である、內相が協力內閣に關する信念を述べたからとて自分と意思の疎隔ある譯でないから幹事長から黨內の靜まる樣努力されたい

と述べ山道幹事長は政局動搖の折柄とて同氏の今後の行動は注目されてゐる

懇談會開催

【東京二十三日發】民政黨は黨內動搖を防止する爲め明二十四日懇談會を開き[illegible]一段落を告げる運びとなつた

[illegible]富田氏の來訪を受け同樣希望した、斯くて廿四日午後の幹部會で善後策を協議し表面

安達內相から諒解を求む

【東京二十三日發】[illegible]

希望は變らぬ
安達內相談

【東京二十三日發】安達內相は語る

協力內閣に對し自分は積極的に行動書策しようとは考へてゐない然し今日の重大時局に際して擧國一致して支持する所謂國民內閣の樣なものが出來る事を希望する事に變りはないだからそう云ふ空氣が動いて來れば必ずしも其の實現の可能性を否定せぬ

我國の現狀は內外共に重大な時局に當面して居るのだから只だ單に理想論だけで言ふなら我輩とても一黨一派を超越した協力內閣を作つて強い政治を行ふ事に異存はないしかしながら問題はそういつた內閣が出來るか何うかにある又そうした協力內閣が一黨一派の組織せる內閣より以上に仕事がやり得るならたれだつて異存はあるまい、しかし若槻首相との會見に於いて安達君は政治家としての時局に處する理想を表明したに過ぎずしてようといふ考へはないとの事であるから聲明書を發表した事だけを特に問題とするにはあたらない、若し實行運動をするといふのなら問題は別で此方にも意見があるしかし今迄の事なら安達君の責任云々といふがごとき問題とするにたらぬ

三氏首相訪問

Report dated Tokyo, the 23rd, on calls paid to the Prime Minister by 鰐母木, 永井 and 山道 — [illegible]

自治制採用準備を
三省各代表に打電
遼寧維持委員會決議

袁金鎧氏を委員長とする地方維持委員會の各幹部は二十二日夜闞朝璽氏宅に於て東北四省に自治制採用に關し協議し左記重要各項を決議し廿三日この旨吉、黑、熱河の三省代表に打電した

一、奉天、吉林、黑龍江、熱河の四省は將來共和の臨時政體を採用すべくこの際各省ともすみやかに自省內の自治形態をもとり得るやうになすこと

二、自治採用の障害物たる兵匪の討滅に關しては時と場所とにもとづきて適切なる方法を用ゆること

三、右目的達成のためすみやかに東北四省代表會議を開催すること【奉天電話】

奉軍の引揚を勸告か
聯盟から張學良氏に

【東京特電二十三日發】目下聯盟理事會で起草を急いでゐる決議案には錦州方面の形勢不穩なるに鑑み特に同方面の事態擴大を防止する樣日支双方が誓約する一項を包含せしめんとしてゐる模樣である**が聯盟理事會でも漸く錦州方面の情勢を理解し**馬賊跳梁に邦軍が之を操り居らざるを判然としたので同方面の馬賊跳梁がこれ以上猖獗する時は勢ひ日本軍と馬賊の背後にある錦州奉天軍との衝突は到底避け得られぬので聯盟もこの點を考慮し**聯盟の名に於いて張學良氏に對し錦州奉天軍の大部隊を關內に引揚げるやう近く勸告する事となりはせぬかと觀らる**これに對し外務當局も斯る措置は極めて妥當適切との見解を抱いてゐるので機會を得て日本駐兵は警察權行使以外他意なき事を重ねて聲明する模樣である

調查委員分擔事項
期間は四個月の豫定

【東京二十三日發】日本政府の提示してゐる聯盟支那調查委員の人選は英、米、佛三國より各一名出す外に日支兩國より各一名づゝ加へしめんとするものであつて**米國委員は經濟關係を英國委員は法律關係を佛國委員は軍事方面の調查に當らしめんとするもの**であるが委員長は佛國より選ばんとする意向だ而して委員長としてはペタン少將最も有望視されてゐる、尙米國委員は前の海軍次官で現在有數の實業家であるデヴィス氏が有力となつてゐる、しかして**調查期間は四ケ月位**の豫定であると

調查員派遣案
審議に着手

【パリ二十三日發】日支を除く理事國代表は二十三日午前十時五十分より佛國外務省に參集ドラモンド氏其他專門委員の手によつて日支混合調查員派遣決議草案の審議に着手した

秘密會決議案可決

【パリ特電二十三日發】二十三日午前十時五十分開會の聯盟秘密理事會はドラモンド起草の支那に對する混合調查委員會派遣の決議案に對し全會異議なく可決、零時十分散會した、右決議案は日本の提案を基礎とし理事會の意向を加味したもので撤兵とは全く關係ないこととなつてゐる、なほ右決議案は二十三日午後日支兩國に通告され二十四日午前十一時より更に秘密理事會は開催される

公開理事會開會に至らず

【ジュネーヴ二十二日發】二十一日の公開理事會後ブリアン議長を中心として施支那代表其他との私的會見が行はれつゝあり從つて今明日中には公開會議開催の段取には至らぬものと思はれる

芳澤大使に回訓
我政府の最後的意見

【東京特電二十三日發】幣原外相は芳澤大使よりの請訓に接し二十三日午前十時大臣室に永井次官、谷亞細亞局長、白鳥情報部長等を招致首腦部會議を開き愼重協議の結果直に芳澤大使に回訓を發したが右は理事會の決議案に對する帝國政府の最後的意見を表示したもので極めて重要視されるが芳澤大使は右回訓に依てブリアン、サイモン、ドーズ氏等と更に政治的折衝を爲す筈で今明日中には大體の決議案文の豫案を得二十五日若しくは二十六日頃理事會公開會議を開く模樣である

案文の起草は英外相に委囑

【パリ二十二日發】日本の提案に基る支那調查委員派遣案文起草は多分英外相サイモン氏が委囑されることゝならう

米當局は樂觀

【ワシントン二十二日發】日支紛爭[illegible]を決し訓令した

外相等協議

【東京二十三日發】幣原外相は芳澤代表よりの調查委員案に關する請訓に接し廿三日午前十時外務省に永井、谷、白鳥氏らを招致して回訓につき協議し調查委員の性能は支那全部に亘る調查をなし我軍の現狀に對し批判的なる事を一切拒否する旨の帝國政府最後の態度を[illegible]した

財界各方面では
內相の態度非難
爲替相場動搖せん

【東京二十三日發】安達內相の投じた協力內閣論の一石は俄然政界に一大波紋を描き現內閣は今や重大なる危機に直面するに至つたが該聲明中に暗に金輸再禁の必要を聲明しただけに政局の不安は直に金輸出再禁止實行が氣構へられるに至つたため折角政府及び財界各團體の懇談會に於て現政府は金輸出再禁止を行はざる旨を聲明し財界の不安を一掃しそれが爲め對外爲替相場も漸く安定せんとしてゐたが、政局の動き如何では再び對外爲替相場は大暴落を來し從つて正貨の海外流出も更に增加し我財界の痛手を蒙る事は意外に大きいであらう、然し乍ら株式界は寧ろ金輸出再禁止を歡迎してゐるだけに却て市場には好況を與へるに至るかも知れない、何れにしても年末も迫りたる事とて財界各方面では安達內相の態度につき非難の聲を放つてゐる向が多い

原田園公秘書
首相內相訪問

【東京二十三日發】園公秘書の原田男は二十三日午前八時安達內相をその私邸に訪ひ聲明書問題に就き種々聽取した上同五十分辭去、更に若槻首相を輪込の私邸に訪問した

銀貨滿洲輸送
今後の銀價に好影響

【南京二十二日發】當地の在銀は大連經由滿洲に送らるゝ傾向あり旣に六百萬元に達して居るが昨日更に外國汽船で百五十萬元が輸送された、これは從來學良氏の政權下で發行された無準備紙幣に代る新紙幣發行準備流通銀貨用として需要され居るもので今後滿洲に民治政治が布かるるとすれば銀貨に[illegible]

田代武官歸京

【東京二十三日發】近く關東軍の要職に轉補される中國公使館附武官田代少將は招電に依り二十二日歸京したので二十三日午前九時參謀本部に金谷參謀總長、建川第一部長、橋本第二部長と會見して滿洲事變に對する國民政府の眞意、今後の態度等に就き重要報告をなし午前十時半退出した

新らしい生命（四）
第二の反抗（85）
三宅やす子　阿部金剛畫

「お靜、お靜」

五平爺は、橋本を訪れて蒼い顏をして歸つて來た。

「俺も、今度といふ今度は、年貢の納め時だよ、お靜」

「さうなもんだにな」

お靜は、それに答へず、庖丁でチヨキ〳〵野菜をきざんでゐる。

年頃は、まだ六十か、どうか位のところ、者、一ここ者で通つた筋ばつた腕や脚や、た悴を僅に殘して、なる不幸續きに、五ふよぼ〳〵した呼びしくなつてしまつた

「お靜。居れえのか」

日がとつぷり暮れ[illegible]中は眞暗闇で、人の姿もない。

「どこに行つたんだろ。お靜の奴、親にたてついて、一體何をする氣なんだか」

舌打をしながら、圍爐裡のそばに這ひ上り、五燭の電燈をひねつて、

「火種もありやがられえ」

五平は、やけにマッチをつけて煙管をはたいた。

「お父さん歸つたの？」

お靜は——十八か九と見える可憐な娘だ。

「歸つたの、ぢやあんめえよ。今朝から何度も何度も、鬼のところにお百度ふんで、俺、壽命のちゞまる思ひで歸つて來たのによ」

「すまなかつたわ——おまんまにしやうね」

お靜は、默々と、竈に火をたくべる。

「おまんま位、こせえさいてもよ[illegible]」

「……」

細みにして居た長男が去年から行方知れず。女房が三年越しのわづらひで此度死んでしまひ、九つになる末ッ兒が、誤つて河に落ちて死んで——いまはお靜と二人暮しなのだが。

五平は、若い時から、橋本家の恩顧を受けて、働いて來た男だ。五平の半生は、橋本の下男で、少年の時から十五年の間、橋本家のために、文字通り、骨身を碎いて働いた。

十五年經つて、太吉の肝煎りで女房を貰ひ、世帶を持つて、二十何年、ついぞ義理を缺いたことのなかつた男が、ひよわな末ッ兒の牛乳代に追はれた擧句が、子供の醫者通ひ、つゞいて、三年越の女房の藥代で、すつかり借金をこさへてしまひ、身動きもならない窮境の下だ。

社説

健康運動と在滿邦人の自覺　日本民族の體力

國民體育の必要は日本舉國の間に常識化され、今や滿洲に於ても官民均しくこの運動を起すやうになつた。之に就て吾人の痛感する所は、我が國民の體力は民族の本質的には決して弱くないことである。都市に於ける所謂インテリ階級者や、醫學上から見た結核患者の統計數からいへば、日本人は世界文明國でも相當弱い體質の持主のやうにいはれたが、各種の實際問題から大觀すると反對の現象が少なくない。現に三十年來の國難時毎に示された活動に見ても、母國に比して氣候風土の非常に異なる地域に於て、極寒にも、酷暑にも、他民族の及ばぬ成績を舉げて居る。最近東蒙に於ける軍事行動の如き、何人もが我軍の士氣、訓練に就ては深い確信を有してゐたが、氣候風土の自然力に對して果して能く遺憾なきを得るや否やは、心竊かに一抹の憂なきを得なかつた。少くともこの點に於て寒風沍寒の間に鍛へられた黑龍江軍は、自から恃む所多かつたらしく想はれる。それが鎧袖一觸、短時間にして能く彼の如き偉功を奏したは、愛國の誠忠と、戰術訓練の精妙さに外ならぬとはいへ、民族の本質に之く所として可ならざるなき長所ある爲だと信ずる。

◇

少くともこの信仰と自覺とは今後益々必要な國民の活力素であり、一般的にこの活力素の培養と鍛練とに心を注ぐべきだ。戰時の長所は同時に平時の長所であり、軍隊の努力は更に商工農者の努力であらねばならぬ。而してこの實例は海外に於ける邦人從來の活躍に照しても明らかだ。北米アラスカは有名な寒地であるが、この方面に在住する邦人の健康並に勤勞力は、他の何國人にも劣らない。中南米や、南洋諸域に於ける移民の成績も、歐米諸國人の夙に驚嘆する所である。殊にメキシコ、秘露等の山地を旅行した者は、何れも土着人士から邦人に對する體力上、智力上の讚辭を耳にする。大アマゾン流域の如きも、地方官民が衷心から邦人の渡來を希望して居る所以の者は、決して自家の富源開拓に利用せんとのお世辭許りでない、民族の素質にさうした使命に適はしい長所あるを信ずる爲である。歐洲移民が屢々企畫して不成功に了つた開拓事業が、日本民族の爲に殘されて居るのだといつた輿論をきくが、それは彼等が加州や、比律賓や、聖保羅州に於ける日本人の驚くべき成績を見聞して居るからである。

◇

風土氣候の自然的相違からいへば、熱帶地方にはそれに接近した民族が最も多く流入し、寒帶國また同樣の順序傾向に偏するやうだが、日本人の對外進出徑路には、幾んどこの差別が認められない。滿鮮當初の移住者は九州人多く、北海道開拓の先驅は東北人之に當つたやうだが、臺灣南部の新潟村や、聖保羅州イクアツペ植民地の福島縣人などの現狀を見ると、少くとも日本人の體質は、必ずしも寒暑の相違に左右せられぬことが證明される。それは勿論母國の地形が、南北に延長して總ゆる氣候を包含し、國を舉げて政治的社會的團結力の下に、幾千年の民族的訓練を經た爲ではあるが、而もさうした訓練に依る先天的後天的體質の特長だと稱して差支へない。今や世界の耳目を聳動した滿蒙問題の如きも、その平時と非常時とに拘はらず、究極する所は民族本來の活動力如何にあつて、さうした活動力の源泉は一に之を精神肉體の健剛に求めねばならぬ。從來の現地在住者は動もすれば國民本來のこの素質を忘れ、自からそれを減殺低下するやうな弛緩生活に安んじて居た。それがドノ位獨立邁往の精神を弱めて居たであらうか。時局の推移は事每にこの錯誤を反省せしめるが、健康運動の其の意義も蓋し其處にある。

國難會議を開いて救國の大計を協議

南京代表大會の決議

【南京二十二日發】第四次全國代表大會は本日午前八時林森氏主席で開會、第四次中央執監委員の選舉をなし續いて秘密會議を開き黨の内部問題を討議した、其後第九次大會を開き主席團の緊急動議で各界の人材を網羅して東北存亡の國難會議を開き救國の大計を協議する案を提出通過し中央執行委員會に辦理せしめることゝなつた、尚四全會は明日午前の會議を以て閉會、未解決の各論は中央執行委員會で辦理することゝなつた

錦州政府軍奉天攻擊の企圖

張氏窮餘の積極策

天津北平よりの來電を綜合するに張學良氏は黑龍江軍失敗後南京方面の對學良空氣極めて不良となりさもこの點に於いてもその聲望地に落ち、彼は全く意氣銷沈し蔣介石氏よりの激勵的煽動命令を受けたるも元氣なく、僅かに彼の取り卷き連中の二、三の者が從來の行きがかり上主戰論を高唱してゐるのみで今や張學良氏を中心とする一派の團結のため最後の決意をなす時機に臨んでゐるも、内部は支離滅裂の狀態である、しかしながら天津山海關よりの情報によれば張學良氏は錦州方面に對し其後兵力を移動せしめ大凌河々畔の軍隊の部處を變更しつゝあり同時に北寧沿線の匪賊を討伐し將來の作戰上の不安を一掃せんとしてゐる、錦州政府軍は大舉して奉天遠征の企圖をたて錦州軍の有力なる一部は溝幇子に到着し尚多數の別働隊は新民府に出動してゐる【奉天電話】

張學良氏進退兩難

【天津二十二日發】張學良氏は連日武器彈藥を秘密裡に山海關方面に輸送中で錦州には四萬の兵あるも日本軍の馬占山擊破に恐れをなし奉天派内部には日本軍來らば無抵抗に關内に退却すべしとの軟論と全國の援兵を得て東三省を奪還すべしとの硬論兩派に分れて居るが學良氏は戰つて勝算なく戰はずば致命的非難となるべく今や進退兩難に陷つてゐる

日本軍の驅逐を準備

【天津二十三日發】張學良氏は今朝馬占山に軍費を支給し飽く迄日本軍へ對抗せよと命じてゐるが萬福麟氏は昨夜支那記者に馬占山は日本軍を驅逐すべく準備中であると語つた

作相氏の訓電

濱江にある吉林主席代理誠允氏は最近張作相氏に對し吉林の殘軍をもつて日本軍の嫩江部隊の背後を衝き一舉にこれを殲滅するか、若しくは戰鬪を全然中止しすみやかに日支直接交渉を開始して問題を解決するか二途のうち一途を選ぶを要す、敢て進言し返答を請ふと述べたが、作相氏はこれに對し例の消極的態度をもつて明答を避けてゐたところ、二十一日張作相氏の名を以て左の如く返電して來た

介石は積極的排日行動によりて事件を解決するに決し、目下計畫中なるを以て近日中に活動あるべく、此際は具體的に排日行動の命を發すべし、それ迄は待機し、兵を養ひあるべし【奉天電話】

天津も形勢不穩

支那側の排日熄まず

天津來電によれば支那側は日本軍警戒線の前方に設けてあつた陣地を一度は撤去したが廿二日又これを急造したので、日本軍は設備せる陣地につき萬一に應ずる準備したるところ、支那側は漸次鎭靜して來た、又濟南城附近に便衣隊現はれ發砲して暴動をおこしたが、大事に至らなかつた、要するに支那側の此種排日行爲と官憲の不取締による擾亂は何時までも續くので、これに一々相手してゐる日本軍はいつか實力による解決手段を採るやうになるやも測り難しと【奉天電話】

【天津二十二日發】緩衝地帶内外の支那街防備は十七日以來駐屯軍と總領事館立會の下に撤去されて居るがこれは邊部だけでその實次ぎ〳〵と堅固なものを築造し居り殊に本日午後二時半日本租界山口街の北端から僅に五十メートルの電信局前面に十數個の地雷火を敷設したなどは如何に脅威にかられて居るにせよ其の不遜は度し難きものとされ不穩の空氣を去ることは當分困難である

蔣氏北上の準備

青島で石油を買占め　言ふ處の對日作戰

上海よりの來電によれば蔣介石氏は着々北上の準備中なるが如く廿三日中に總司令部の要人を伴ひ河南又は北平に向ふとの説あり、しかして總司令部は北伐成功の後すでに數回にわたり廢止を議決せられゐたるものなるも其の都度蔣介石氏は戰時に名を藉りこれを存續しおき軍憲の牙城を保守してゐるものである、南京側軍部要人が密に漏らすところに依れば蔣氏は天津、上海、青島方面にある米國石油を買占めてゐるがこは軍用飛行機、自動車用に供する計畫にしてかくの如き大量買占めは從來見ずと云ふ、暗に飛行機の優勢をもつて對日作戰を準備しある如くほのめかしつゝあるも南京側の戰備を北方に轉向するはなほ排日準備に名を藉りて實は北方反蔣軍討伐準備とみられてゐる【奉天電話】

山海關の邦人兵營に避難

【天津二十三日發】天津方面の形勢逼迫と共に山海關の形勢險惡化し本日同地在住の邦人は全部守備隊兵營に避難したが此の内六家族は昨夜天津に引揚げ來たつた

平津間に防禦陣地

【天津二十二日發】日本軍の錦州攻略必然と考へてゐる張學良氏は日本軍の北平進擊を阻止するため平津間の楊村、郎房一帶に嚴重な防禦陣地を工築中であると觀られてゐる【奉天電話】

對日戰鬪企圖兆候益々濃厚

今や張學良氏及びその配下は一に蔣介石氏の爪牙にかけられるに夢さめず、妄動するやうになつた、第四次代表會議に於ける蔣介石氏の暴言は幾度のことで、これにより僅かに餘光を續けつゝあるもので、北方軍憲がこの煽動的南京よりの放送命令にもとづき蔣介石氏の走狗となり對日戰鬪を企圖してゐる兆候益々濃厚となつた【奉天電話】

支那全體の視聽は專ら施肇基代表一身に集まり、滿洲問題は馬占山一人の上に全注意が集注され、且つ希望がかけられ世界の大勢には少しも關心されなかつた斯る制敵の方略で何處に抗日があるかと不平を稱へる者さへある、又對日問題で一時地位の安定を見た蔣介石氏に對する非難の聲が再び起りつゝあり、殊に廣東派は此の外交失敗を以て蔣氏の下野を迫る作戰らしいから、支那の内憂の方が却て益々深化するのではないかと觀られる（十一月十八日）上海にて　日森

前進するわが軍

昂々溪チチハル間の原野　山口特派員撮影

他力本願の夢淋し

聯盟の空氣に漸く失望して　本心に歸つた支那側

十六日の聯盟理事會再開に對して全世界の視聽が均しく之に集中されたであらうことは想像に難くないが、殊に南京、上海方面に於ける支那官民の緊張ぶりと云つたら、問題の當事者として無理もないが、實に素晴らしいものであつた、寧ろ滑稽な感さへ與へたのは上海に於ける十二日から十六日までの戒嚴令であつた「興奮のあまり不規の行動なき様豫じめ取締る」と云ふのが理由であつたが、かようにその緊張の點からいへば却てゼネバー以上であつたであらう

◇

待たれし十六日はいよ〳〵來た聯盟の雲行如何にと吉報の來るを待つたのは勿論支那側のみではないが十七日着のゼネバー電報――によつて聯盟の空氣支那側に不利――如何に支那側が如何に失望し、如何に狼狽したかは彼等があまりに他力本願に賴られ過ぎただけその打擊はより大きかつたのである卽ち十八日の支那各新聞は筆をそろへて聯盟を非難し民國日報の如きは米國に對してまで非常な不滿の意を表示した

聯盟がパリに第三次大會を開いた時その開會の初に當つて米國は著名の辯護士ドーズ氏をオブザーバーとして派遣したが、然るにドーズ氏は現在日本に左袒して理事會に出席せないと云ふ之は吾等の最も失望する所で吾人は失望と共に事態の眞相を檢討しなかつた吾々の不注意に氣づかざるを得ない

と述べてゐる之は蓋し他力本願の妄想を目覺めさす警鐘としても面白い傾向である

◇

元來米國の對支政策が機會均等主義による商業利權の獲得に在ることは支那人だつて今日之に氣付くであらう、米國はこの機會均等主義によつて商業利權の獲得を謀り、それがためには溫情主義的な懷柔政策に偏向せざるを得なかつたのであるが歐洲大戰以來支那に對する一切の條約を通じて現はれたる米國の傳統的對支政策が列國の對支政策と異り比較的支那の好感を獲得したことは蓋し之がためである、併しその支那に對する好表示を貫くものは溫情主義そのものに外ならずして、最近に於けるフーヴアの銀借款や、小麥のかけ賣り供給の如きも總て斯かる政策の現はれに過ぎない、支那が從來此點に對する檢討を試みず、徒らに米國を賴りにしてゐたことは今日、失望悲觀を通り越して、怨みごとまで言はねばならなくなつた所以であるが十八日の民國日報は更に

米國は固より國際正義を持し非戰條約を尊重するものではあるが、支那外交當局は之を等閑視して來た、伍朝樞公使が辭任して廣東に歸來して後、駐米公使は數ケ月の間、空席の儘放置されて之に反して日本は出淵大使を盛に活躍せしめた、斯る外交的效果がワシントンで如何樣な結果を齎すかは自ら明かであらう

伍朝樞氏が米國を引揚げた結果は、米國内には支那が再び不安定に陷つたと云ふ觀念を深からしめ、上海に於ける南北平和會議に對し、米國が特に注意を拂つたことは一にその爲めである、和平會議は南京と廣東の合作精神のもとに依然進行されてゐる筈だが之を組織的に見やうとする米國の眼には不幸にも團結一致の傾向が解せられないのだ、且つ日本の米國に於ける外交的宣傳は米國をしてその對支政策を改變せざるを得ない程に盛んに行はれて來た、日米關係の本質が何邊に在るかは自ら知るべく要するに吾人はこの空前の國難に直面して、吾人の忽略な眼光は竟に今日の惡結果を招いたのである

と米國の態度に散々泣きごとを並べてゐる

◇

これより先、浮調子の一般支那人は、聯盟の空氣が支那に取つて一時有利な傾向を示した時、恰も日本が世界列强から袋叩きにされてゐるかに早合點し、實に素晴らしい鼻息であつたが昨今來のしほれ方と來ては實に氣の毒な程で、一般の要人達も聯盟の話なら御免だといふ調子で成るべくこの方面の話を避けようと努める樣になつた同時に今日の如き國内の不安定狀態では到底外交上の成功は望めないと云ふ自覺を起した樣に思はれる、卽ち聯盟理事會が開かれる時には

八相　投書歡迎　五十行以内　すらさは名匿

商民の減俸　旅順　一商民

◇旅順市に全滿を動かすべき貿易諸出産會社若しくは多量特産物有力なる金融機關等のなき限り旅順商民の生活の糧は今後幾十年後と雖も諸官公廳俸給者に必然的に求めなければならないことは事實である、こうした平和裡に緊密關係にある需要、供給者間に惡德需要者が現れ故意に此圓滿關係を破壞し旅順金融狀態を惑亂し圓滑なる運轉を阻止しその運轉によつて生きる哀れな商民を塗炭の苦みに喘がしめたとしたならば、需要、供給者共に此惡德俸給者を憎まずには居られない。

◇或る寂しいささやかな酒店の主人が寒氣の中二日も飛廻つて三百幾圓の酒代に二圓しか入らなかつたと、こんな事實はほんの一例に過ぎない程馬鹿々々しい支那式の不合理が横行してゐるのだ、官公廳が率先からして緊縮振興策を絶叫しても商民は明日のやりくりに精氣もなく馬の耳に念佛視してゐる。

◇三百圓の俸給者が其月二圓に減俸されたらどうしたらどうだらう苦みに變りはない筈だ、俸給者には翌月の三百圓が待つてゐる商民には又二圓しかされない絶大なる馬鹿々々しい不安がある其上に翌月の資本は何處に求める、商民を啓蒙すべき全智全能の知識階級の官公吏の無責任が笑へて仕方がない、商民は牛馬ではない、皆稅も拂へば家族もある、皆俸給者と同樣に生きればならない者許りだ、どうした二圓で生きられるだらうか。

◇こうした惡德俸給者が流す害毒は段々擴大し今はお互に遠い異邦に來てまでも憎しみ合ひ、弱い者同志が不義理のなすり合ひの悲慘な狀態だ、誰がかもした罪だらう。だが嫌惡しつゝも追縋らねばならない商民である、愛市の名に於て諸官廳は軍部の樣に彼等に制裁の戒律を定められて彼我共に圓滿なる平和都市を創造しようではないか。

人事

▲津村雅量師（本派本願寺支部開教總長）廿二日夜奉天へ
▲岩本海量師（同贊事）同上

大觀小觀

民政黨内閣お家騒動劇の續篇、題しまして「國民内閣出現説」▲安達内相とその一黨の暗中飛躍、若槻首相の支持者の防禦運動▲外にあつては「馬あらば乘つて見度い風情」の宇垣將軍▲「ウフ、聯立も惡くはないがそれよりもいつぽうに爭はせて漁夫の利を……」と狙ふ反對黨の面々▲「それ、既成政黨の分解作用が始まつた、此機を逸せず」と横槍を擬す無産派の陣營▲滿家に渦捲く風雲をよそに見て？室内は煙草の煙り濛々▲映し出されるフイルムの影、展開されんとする幾場面に、好奇の眼を光らす▲その第一卷、序曲のタイトルに曰く「内相を中心に動く昨今の政局！」と▲而してその會話の一節「何あにありや一種の理想論ださ」「いや空氣は既に動いてゐるよ」▲クローズアップ。無髯で鼻の高い、口の大きい、そして廣い額、半白な頭髮のいさ縉悍な老人の顔が畫面一ぱいに現はれた▲セリフ「積極的には動かないが若し空氣が動いて來れば實現の可能性は充分にある」▲オヴアラップで、こんどは顔のしやくれた鄙の濃ゆい、でも眼だまは馬鹿に澄んだ老人の顔が現れた▲セリフ「國民内閣説だなんて彼の男理想論だ實行出來るわけではない」▲再び前の老人の顔、ニヤリと笑つた。次に前の老人の顔。ギユツと眉根を寄せた▲その後がさア大變、狐のやうな顔、狸のやうな顔、犬のやうな顔、虎のやうな顔▲その他昼元の馬鹿にでかい顔などがフラツシユバツクでパツ、パツと現はれては消える▲フイルムの廻轉する音、事件は漸く進む▲またく描き出された政界の波紋、果して如何なりますやら▲「暮り日の獄館や夕寒し＝邪道句子」

勇敢に健鬪した將士を充分に休養させたい
多門第二師團長記者團と會見
二十三日チチハルにて 栗栖特派員發

馬占山は十九日午前四時チチハル撤退に當り蔣介石、張學良、萬福麟に對し余は戰ひ敗れて退却するが部隊は海倫拜泉克山の線に集結して命令を待つであらうとの電報を發してゐるが、現在馬占山軍は訥河、拉哈站克山大安鎭の線に集結してゐること略明瞭となつた、多門師團長は昨日あまねく傷病兵を慰問した後午後四時師團司令部に於て各新聞記者と極めて打とけた會合をなし

師團は部下一同の奮鬪により相當の成果を收め諸君により**その眞相を同胞に傳へたことに深く感謝する**師團は成るべく早く撤退したいと思ふが黑龍江省の政權が確立、治安が維持されるまでは撤退する譯にも行くまい自分は軍人で戰をすることだけ知つてゐるが政略的なことは一向解らぬ、唯**わが忠勇なる兵士に多數の死傷者を出したことを痛ましく思ふ、軍事行動中は隨分無理をさせたからこれからは充分な休養を**させやうと思ふ、凍傷者が多數出たのは心配であるが新式の治療が施されつゝあるからさして心配もあるまいと語つた、記者は十九日夜に於て師團長の乘れる自動車が護衞兵よりも先に進みて敗殘兵と衝突した事件を引例して師團長の自重を希望したら「だが氣がせくからね」と呵々大笑した

『昔から偉い人は皆小さい時苦勞した』
いぢらしい井上中尉遺兒の言葉
戰死者の遺族を訪ふ

馬軍を潰滅せしめた皇軍の右翼隊歩兵第三十聯隊(旅順駐剳)井上中尉、水口、岡村兩主計その他の戰死者の確報を齎し留守隊を訪へば板倉大尉以下留守隊員はいづれも沈痛の色を湛へつゝ隊務の傍ら遺族への連絡その他で多忙を極めてゐた、營內の官舍にゐる水口、岡村兩主計宅を訪ふとモー聯隊將校家族連の弔問客である

水口主計は本年三十六歳の男盛りで新潟縣出身の人遺族はキミ(三二)夫人に長男の志計夫(九)君の三人家族岡村主計は岡山縣出身で本年三十四歳で遺族は幸子(二八)夫人に本年生れたばかりの秀子孃で奇しきは戰死した當日が恰度結婚して三年前の同月同日である

流石は帝國軍人の妻已に覺悟してゐたとは云へ記者の弔問に對し兩人は交々語る

御國の爲に有りがたう御座います當初行方不明と云ふので大變心を痛めて居りましたが死體が發見されたとの事でサッパリ致しました

又土屋町の井上中尉宅を訪れるとき子未亡人が應接室に現れ

いろいろと有りがたう御座いました留守隊から取り敢へず御通知を受けましてモー覺悟は致して居りました、今朝(二十二日)井美軍醫さんから軍事郵便が參りましたがそれに依りますと主人は小興屯南方約二千米の地點に於て右胸部へ盲貫銃創を受け同日夕刻野戰病院に收容され百方手を盡しましたが十九日午前五時二十三分遂ひに死去したとの事で多くの戰死者の中から手厚い看護を受けました事は滿足です、子供は長男の完一(一二)次男克二(一一)三男弘三(八)ですが皆覺悟は致して居りましたゞ今日愈々戰死したと知れましたので大聲擧げて泣きましたが長男は妾に向ひ「でもお母さん、僕等は兄弟三人で好かつた、昔の偉い人は皆小さい時に困難した者だ僕等はこれから大に勉强する……」と申して居りました、恰度九月十九日後長男が夕刻表の方を見て居りましたが

秋風や父さんは何處虫の聲

といふ俳句を作りました、今日となりますと之が虫の知らせとでも申しませうか……

涙一滴見せぬ健氣な態度は實に立派なものであつた、尚兄弟三人は中尉出征以來毎日納骨祠に參拜し御父さんの丈夫と手柄を祈つてゐたさうである

新嘗祭の御儀

【東京二十三日發】本日の新嘗祭は午後六時天皇陛下御親祭の下に嚴かに行はせられ本年度の新穀を供し給ひ又御自ら聞し召された

慰問金に一萬圓寄附
銀座タイガー經營者

【東京二十三日發】本鄕區役所へ二十一日午後、一紳士が現れ滿洲派遣軍慰問資にと金一封を置いて立去つたが、開封すると大枚一萬圓の小切手であつた、事變以來各方面から金品の慰問が贈られてゐるが、個人で一萬圓の寄附は初めてで奇特な主は本鄕一丁目岡本正二郎氏で本鄕バー、銀座カフエータイガーの經營者である

愛國學生聯盟の慰問團近く來滿
各大學代表一行廿名

東京の各大學生により組織された愛國學生聯盟では去る十一月六日盛大な愛國祭を主催したが、更に第二段の活動に入るべく各大學より一名宛約二十名の代表を特派して在滿軍隊の慰問を行ふ事となりこれが代表の先發として明治大學生山崎辰次君が廿三日入港あめりか丸で來連各方面との連絡事務に携はる事となつたが來る廿六日一行廿名は來滿すると

神明高女で齒の治療

神明高等女學校では齒科の醫療機械を新設し專門醫師を招聘して全校女生徒の治療を徹底的に行ふことになつた(寫眞は治療室)

久保田金平翁の記念碑除幕式
旅順で盛大に擧行

故久保田金平翁記念碑除幕式は二十一日午後二時半から第三回閉塞隊記念碑西側で擧行、ケサヨ未亡人令息昌藏氏を始め旅大生前の知友百餘名を始め在旅海軍部隊參列し今村神官により嚴肅神事執行されたが特に海軍省から玉串料を供へ餘榮に輝いた鈴木無電所長、三瀦戰跡保存會長、大谷白玉山理事長の祝辭に次で砥川海軍班長、永山市長、木村滿鐵々道部長、米內山民政署長其他の玉串奉奠伊澤發起人總代の工事報告等を以て閉式、更に閉塞隊記念碑前に於て神酒を頒ち今村春逸氏の挨拶、大谷司令官の謝辭があつた(寫眞は金平翁の碑)

壓倒的成功を納め健康週間昨日終る
全市民の健康に貢獻した この數字とこの實例

各醫家、藥劑師を始め官民關係者の犧牲的後援の下に本社が開催せる健康週間は二十三日を以て壓倒的成功をおさめて終つた、最後の二十三日は健康診斷に殺到せる市民の數赤十字病院の百八十三名の記錄的數字を始めとし市中各醫院も二十名乃至數名、當日の受診者は大連市だけでも四百名を超えるものと概算される、藥店における無料投藥もなかなか多く朝日小學校における太陽燈治療も終日押すな押すなの大盛況であつた

本社講堂における衞生展覽會も朝早くから入場者殺到し晝過ぎには立錐の餘地もない程の混雜で字義の通り掉尾の盛況を示した健康週間中の最重心である健康診斷の成功は實に各醫家とも想外の成功で大連醫院、赤十字病院の如き連日殺到した受診者受付に醫員總動員轉手古舞の顚であつた、實にこの一週間の健康診斷受診者の數赤十字病院の三百五十餘名、大連醫院五日間の三百名を始めとし旅大醫院七十餘軒を數へば裕に二千名を突破するとみられてゐる

一週間內に旅大における二千餘名の邦人が健康診斷を受けたが如きは實に未曾有の實例であり如何に本週間の趣旨が全市民に徹底せるかを實證するものでなくて何であらう、まことにこの數字、この實例を示して我が歷史的催しなる健康週間はセンセイショナル成功を全市民の健康へ多大なる實質的貢獻を齎して萬全なる目的を果して終了した、なほこの催しに犧牲的援助を與へられた旅大醫家、實業藥劑師會員、資料出品者、講演者その他熱誠なる大方の後援者に對して深く感謝する次第である

大連の體育團體 團結の機運熟す
奉仕と慰問を目指し近く團結式を擧げん

事變發生以來大連各體育團體有志の間にはこの際大連全體育團體を大同團結して邦家危急の機に臨み何等か適當な奉仕をなしそれと同時に酷寒の下に奮鬪を續けてゐる出征軍人、警察、滿鐵現業員等の慰問方法を講ずべきではなからうかとの議が持上つてゐたが、いよいよ大連約三十團體の團結の機運は熟し廿一日午後三時から大連市役所內でそれ等各團體中廿四團體の代表、有志等廿八名會合それら具體的運動についての第一回打合會を開いた

先づ滿場一致で林田滿洲體育協會主事を座長に推し協議を進めたが何分各團體の代表中には個人の資格で出席した人もあり、各團體としての意見を纏めることが不可能であつたため主旨に關しては出席者全員の贊成を得たが今回は單なる下打合に止め次回までに各團體において、事變に關する聲明書發表の可否、軍隊、警官、現業員慰問の具體的方法等についての意見を纏め更に各團體より全權を委任された代表者が次回の會合に出席、席上體育聯盟の團結式を擧げ、綱領を決定後廿一日相談の議案について協議を重ねることゝなつた

而して次回に設立を見る筈の團體の名稱は大體「大連體育團體聯盟」と呼ぶことに決定されたが、尚次回の協議を出來得る限り迅速に纏め得るやう便宜上廿一日會合した代表有志間より發起人としての準備委員六名を選出しそれ等の人々によつて聲明書の草案、慰問方法の具體策を立案し次回會合に提出することゝして午後五時十分散會した、因に次回は廿八日午後一時より市役所內で開かれるが準備委員は左の六氏に決定した

安藤武雄氏(滿洲ラグビー蹴球協會)中澤不二雄氏(滿洲倶樂部)林田學氏(滿洲體育協會)沖彌作氏(滿洲運動會)濱田善八氏(大連YMCA體育部)由良龜太郎氏(滿洲劍友會)

被保護兒童は全國で約一萬
兒童虐待防止法の制定で 內務省が實地調査

【東京二十三日發】兒童虐待防止法案が來議會に提出される運びとなつたのであるが、これより先該法による被保護兒童數について昨年の調査したところによれば全國で五千餘名と目算されてゐたのであるが、いよいよ實施の場合には該法の趣旨の徹底普及すると同時に、これが認定にも相當の移動あるべく、なほ且つ不況の深刻なるにつれて實際保護を要する者が更に激增するものとみられてゐるので、內務省社會局では曩に全國各府縣當局に通牒を發して更にその實地踏査を命じ、目下その報告を取纏め中であるが、昨年の調査よりも更に三、四千人の增加をみるであらうと豫想されてゐるので、或は結局一萬人近くに達するであらうと

武器密輸事件 檢擧一段落
一味十餘名悉く就縛

賣國奴的武器密輸事件は二十三日午後一味の自白によつてさらに進展し市內紀伊町永尾組主を拘引留置し、永尾組店員、大塚、草野も續々檢擧され峻烈な取調の結果、天津からビールの如く裝ふて送つて來た銃器を大連埠頭で受け取る

役割をなしてゐた市內沙河口巴町三三番地洋品雜貨商溝口富作(四)をも逮捕、一味十餘名悉く就縛を見るに至つたが天津方面との連絡を執り、金主關係とも見られてゐる裏面の怪外人、ロシヤ生れゴーマンスキー(四)外二名は各地に手配嚴探中であり近く逮捕の見込みで、これをもつて檢擧は一段落を告ぐるものと見られてゐる、しかし密輸の銃器は日本製の如く裝ひ、天津から支那製の雜貨なるをビールの如く裝ふて大連に送り埠頭東倉庫に於て溝口及び永尾組店員大塚、草野等が

協力 ミシン機械の如く荷造りを替へてハルビン宛送附してゐたもので、黑龍江方面の敵軍の手に渡つた武器は相當ある模樣である、なほ永尾組は、さきに檢擧された昭和洋行のモヒ密造事件にも關係あり、當時檢擧の手を免れてゐたものが今回の事件で發覺、武器の購入もモヒ密造で儲けた不正な金が一部投下されてゐるとも云はれてゐる

日清汽船の梅丸 共匪に射擊さる
漢口の上流を航行中

【上海二十三日發】漢口來電によれば最近揚子江流域の共匪土匪の活動活潑となり非常に警戒されてゐるところ日清汽船梅丸は長沙より下江の途十九日漢口上流九十七浬の陸溪口にて十數發の不法射擊を受けたが、全速力で通過し被害を免れた

謹告

保健衞生と健康增進を圖る目的を以てなしたる本社主催の健康週間に對し、特に各位の後援により豫期以上の成功を收め終了したことは、これ一に各位の社會的奉仕の賜にして衷心より感謝する次第であります玆に謹んで紙上を以て御禮申上げます

十一月二十四日

滿洲日報社長 松山忠二郎

日光鑛山の爭議團騷ぐ

【宇都宮二十三日發】栃木縣日光鑛山では豫て賃銀値上げの爭議中であつたが二十三日午前九時宇都宮驛上り列車にて上京せんとする係主任等を爭議團側が襲擊「吾等の要求を入れれば上京させぬ」と叫び双方入り亂れて大亂鬪を演じたので警官隊現場に急行鎭撫に努めたが今尚對峙中である

全慶應破る
對米野球戰

【大阪二十三日發】米國野球團對全慶應の野球戰は二十三日午後十時五十分から甲子園グラウンドに於て全慶應先攻の下に擧行したが依然米軍の打擊振ひ遂に八A對五で全慶應軍敗る

球磨旅順歸航

青島碇泊中の第二遣外艦隊旗艦球磨は津田司令官坐乘來る二十六日旅順へ入港の豫定

早慶蹴球戰

【東京二十三日發】早大對慶大のラグビー戰は本日午後二時三十分から神宮外苑運動場に於て早大先蹴で開始前半戰は慶軍良く守りて零點となさず後半早大奮鬪十二點を收めたに對し慶大タイム・アップ直前漸く一トライしたのみ遂に十二點對五點で久方ぶりに早大大勝す

ホッケー大會 早大大勝
關東代表となる

【東京二十三日發】全日本關東ホッケー大會の最終戰である早大對三田軍の試合は戸山練兵場に於いて擧行五—〇、五—一で早大大勝し關東代表として關西軍と對戰する事となつた

安樂椅子

「對日宣戰を布告せよ」とさかんに氣勢を擧げてゐる上海、南京方面の學生達は中央軍隊の訓練指導にもとづく學生軍事訓練を受けて以來益々調子づき、一ぱしの軍人氣取りで、遂には「吾等に銃器を與へよ、而らば吾等自ら立つて討日の軍をおこすべし」等と表面甚だ強がりを云ひ出した。

◇

所で「討日」だ「宣戰布告」だと云つてゐる內はまだよかつたが、到々本職の勉學はそつちのけで、最近は殆ど學校に出席せず戰爭ゴツコの眞似ばかり、そのうち今度は馬占山が敗れて以來は張學良あたりは國賊呼ばはりされる有樣で中央軍隊も今は鎭壓の術、いささか持て餘し氣味で弱つてゐると。

滿日各地版

出征兵士の散宿料 全市民擧げて辭退
やむなく獻金として軍部に返金 奉天市民の赤誠

【奉天】鈴木混成旅團の來奉に際し奉天各所に散宿したこれがため軍部ではこれ等の散宿料を各町內會を經て支給方を依頼したしかる處各戶に於ては

國事多端なこの際出征兵士の散宿料などは思ひもよらぬことである

さなし誰一人之を受領するものはなかつた町內會にても之が處置に窮し種々協議の結果一旦之を受取り更に軍部への獻金となすことに決定したのである無論これ等軍隊の市中散宿の時奉天市民は眞心から之を迎へ遇し前例によるこの散宿料も辭退せるこの美擧に對し軍部でも痛く感激してゐるが時局に當り在奉同胞の擧つて祖國のためを思つての赤誠のシンボルである

駐兵方を嘆願

【鳳凰城】鳳城縣自治維持會では二十一日委員會を開催し、支那街に日本兵の駐在方の歎願を決議したが、副會長戴常誠（元鳳城縣知事）同鄂復華兩氏は同會を代表して歎願書を携へ、廿二日連山關大隊本部に板津大隊長を訪ひ、駐兵方を歎願するところあつた

遼陽公報創刊

【遼陽】楊遼陽縣維持委員會長、副會長張懇漢、朱斌奎その他常任委員が發起人となり多數の贊同を得て遼陽公報を創刊廿一日その第一號を發行したが同公報は主として維持委員會の布告を登載し縣內住民に周知せしめ併せて日支各方面の社會記事を掲載する方針であると

身代金を要求

【鳳凰城】徐文海の率ゐる匪賊の一團は、その後人質として石頭城隊公安第二分局長を拉去し、目下同地の北方約四十支里の地點にありて、その人質の身代金として小洋二千元、外に手袋、靴、靴下各百足を石頭城商務會に要求してゐる

全撫各機關起ち 國防費獻金運動
各團體檄文を發して 在撫大衆に呼びかく

【撫順】現下祖國の國際的危機に直面して默する能はず「國防費獻金運動」に蹶然起つ撫順大衆往時と戰法異る兵器戰の現代に於て消極的には外侮を排除し積極的には國威を宣揚するには新鋭科學の表徵たる飛行機乃至超弩級艦等の充實である、由來帝國軍人始め大和民族には世界に類のない絕對不可侵の氣魄がある、平時はその魂も何處かにかくれてゐるやうだが一朝事ある每に日本人固有の魂が勃然と湧き來りそこに超人的強さを示す、若しも是に列强なみの軍備の充實あらば光輝ある三千年の歷史ある祖國の體面を瀆す事は斷じてないだが悲しい哉國防上近代最も重要な役割をなす飛行機等でも列强比較表を見るに日本は佛國の五分一、米國の約三分一にしか當らぬ貧弱さだ

△日本六百臺△佛國三千臺△米國一千六百六十臺△露國一千六百臺△英國一千五百臺△伊太利一千四百臺である

吾等大和民族固有の魂を現すのはこの秋だ、第一線に起つて俠骨を醜彈に曝すに比較し生活の根基を覆へさゞる程度においてお國のため應分の國防費を獻金する位は極めて容易なことであり第二線にある帝國大衆當然の義務であるといふので撫順炭礦、在鄕軍人、實業協會、教育會、社員會、青年部、同婦人部、青年團、少年團、修養團、婦人會、宗教團、記者團等々の全撫各機關相聯び發起者となり在撫同胞に呼びかける事となつた醵金は一人十錢以上未成年者は一錢でもよい十一月二十五日から十二月二十五日までに炭礦地方係か實業協會に申込むこと、尚左記各團體總意に依る檄文左の如し

今や滿洲事變を動機として俄然東洋の風雲激變し皇國の前途眞に測り知るべからざるの危機に瀕しつゝあり、然るに我が皇國軍備の現況を見るに列强のそれに比して著しく遜色あることを思へば轉た寒心の至りに堪へず依て前記團體は安閑默視するに忍びず此際在撫邦人に檄を飛ばして協力一致國防費獻金の運動を起しせめては飛行機充實の一助に當てんとす、願はくは愛國の赤誠を披瀝せられて我等が此擧に翕然御贊同を賜はらんことを目下我等は國防の第一線に立ちて時局の影響を受け肉體的にも經濟的にも頗る苦境に陷りつゝあるも、平素外人に接しつゝある體驗により我が國威の消長に就て感ずる事極めて痛切なるを以て此際私的の苦痛を顧るに暇あらず、敢て此擧を企てたるものなれば在滿邦人は勿論母國の同胞も奮つて我等の微意に贊し各地に蹶起せられんことを希望す

時局相談會 長春に設立

【長春】長春在住有志發起のもとに今回時局相談會を設立することになつたが長春乃至長春を中心とした時局問題また全滿に亘る時局に關した各種の會合に對する聯絡等全長春を打つて一丸とした機關の必要なるところから計畫されたもので時機に適切した會だけに各地方委員正副議長、箱田北滿日報社長、四戶在鄕軍人分會長、武波警察署長、槇岡地方事務所長その他二三氏が非公式に會合相談するところあつたが廿三日午後一時より滿鐵社員俱樂部において多數有志相集まりその打合せをなした

縣下の實狀調査
自治制施行の前提として 撫順地方維持會で着手

【撫順】軍閥の絕くなき搾取より逃れ縣下民生歡呼のなかに組織された撫順地方維持會は着々實動の效果を擧げつゝある而して今二十四日より向ふ十日間縣下第一區五區六區を第一班、第二、三、四區を第二班第七、八、九區を第三班に分ち治安財政教育實狀その他自治制施行の基礎的調査をなす事となつた、右調査委員は維持會公安局、財政局、教育局より各一名と本部公安隊員六名各公安分局員十名書記等を以て構成されてゐる、右基礎的調査と共に縣下民衆に地方維持會の本質を徹底的に知悉せしめ役員の服務狀態維持會本部幹部上の役員數と實際の縣下役員數と一致するや否や各地匪賊橫行現狀等をも踏査併せて各地方忌憚なき民意を問ひ於撫順縣下に他に範を垂るゝに足る理想的自治政事を施行せんとするのである

江橋附近激戰の わが死傷者歸る
遼陽に着いた者の氏名

【遼陽】二十日護國の鬼となつて歸遼した江橋附近激戰のわが戰死者及び負傷者の氏名は左の如くである

戰死者（四十九名）

▲歩兵第十六聯隊 少尉武者清治（新潟）特務曹長野口廣治、曹長田邊武雄、同高地國一、伍長小澤直治、同島津松藏、同坪川義德、同豐島顯、同大川源常、同小田耐、同吉田正、看護上等兵橫山旭、上等兵西村末吉、同熊倉長三郎、同渡邊平野七、同小島憲治、同渡邊勝治、石田標龍、金子福次郎、佐久間要作、小林啓吉、齋藤哲、駒形音吉、齋藤關根豐次郎、瀨倉三代吉、涌井作平治、山崎安次、村山與四郎勇、箕浦仁市、廣川廣保、小林正吉、大橋良平、笠原銀一、佐野喜八、寺田渡、田中金次郎、片切輝久、小杉廣作、田中寅松、小村與三郎、川瀨文平、上等兵岩見勇、佐藤晉三郎

▲騎兵第二十八聯隊 上等兵道廣一夫

▲騎兵第二聯隊 上等兵佐川康男、伍長西巻野政、同高橋涉、上等兵伊藤長次郎

負傷者（五十五名）

▲歩兵第十六聯隊 大尉根本忠亮（新潟）少尉大瀧猪次郎（福島縣）少尉稻葉正夫（同縣）大尉瀧矢思（鹿兒島）二等卒安藤與松、一等卒本間竹男、二等卒中村七郎、軍醫秦昌二、一等卒澤田勝次郎、一等卒佐野戶三郎、二等卒兒玉紋吉、一等卒關野三吉、一等卒高井駒太郎、二等卒中川大次郎、二等卒鰈名林良平、伍長佐藤佐久、曹長近藤誠一、一等卒中野定吉、一等卒小林勝富、二等卒高崎廉象、二等卒山本忠治郎、軍曹岩橋孝司、一等卒宮下寬次郎、軍曹飯濱一郎、軍曹安部榮作、曹長高島英雄、二等卒齋藤田造、二等卒高橋正三郎、二等卒田劵正一、上等兵橋本惣次郎、上等兵傳案男、二等卒甲野與一、一等卒相澤源次郎、二等卒渡邊弘、上等兵大塚勝榮、上等兵渡邊謹次、一等卒本多群一、一等卒高橋佐太郎、一等卒小林倢次郎、一等卒番島與一、二等卒古俣辰雄、二等卒新澤谷鐵次

▲歩兵第四聯隊 一等卒大和要次、一等卒安部榮、上等兵葛西誠司、一等卒小野寺專一郎、一等卒狩野彥次

▲野砲兵第二聯隊 中尉渡邊義堅

長春婦人聯合 會正副會長

【長春】二十一日發會式を擧げた長春婦人聯合會では各婦人會よりそれ〴〵一名乃至二名の幹事を選出して二十五日その幹事會を開催の上聯合會長、副會長その他の役員を選擧決定することになつたが場合によつては會長以下役員は選擧を略し推薦によるかも知れぬと因に長春における婦人會として現在成立してゐるものは左の二十團體である

將校婦人會、憲兵婦人會、警察婦人會、郵便局婦人會、人類愛善會婦人會、日本基督婦人會、婦人矯風會、青葉會、滿鐵社員婦人會、修養團白百合會、本派本願寺佛教婦人會、本願寺女子青年會、長春寺佛教婦人會、高野山金剛婦人會、天理教婦人會、金光教婦人會、各銀行婦人會、警察婦人會、岡山縣婦人會、藤井生花會婦人會

遼陽補充部隊

【遼陽】[illegible]二十三日午後十時二分着列車で來遼した

[illegible]一等卒渡邊勉雄、一等卒須田精治、一等卒荒川正善

萬國賓氏の行方
懸賞で搜す支那側

【ハルピン】一千萬元をチヨロマかしチ、ハルの危急を餘所にハルピンに逃げ込んだ萬國賓は其後浦鹽への逃亡說が傳はつたり北平へ逃げたとの說が傳はつたりしたが其實未だハルピンの何處かに潛伏してゐるらしく支那新聞は殆ど連日彼の惡口を掲載しその所在の發見に懸賞してゐる位である、當地官憲としても彼が管理者印を僞造して廣信公司紙幣に勝手に捺印したためにハルピンの金融市場を攪亂した罪は斷じて許すべきにあらずとして逮捕令を發して彼の所在を探偵中である、兎に角彼の行爲が支那人として餘りに酷過ぎたことは事實であるが現在黑龍江省城における主戰論者は馬占山の直系部下にもあらず蘇炳文などの外樣にもあらずこの狡兒の父たる萬福麟の將士達であることは一寸面白い對照である

撫順村長會議

【撫順】約百名を網羅する撫順縣下村長副村長會議が二十一日午後一時より炭礦事務所を借りて行はれた、右も維持會の本質を知らしむる事と從來憲兵隊などが縣下匪賊討伐に向つた際各部落の自衛團などが是等討伐隊を兵匪等と誤認發砲する等の間違ひがあつたがその如き事變を防ぐのと各協力一致地方維持會の有終の美を結ばしめんためである、散會したのは午後四時半であるが警備問題では約二時間に亘つて議論に花を咲かせ鐵砲を今少し多く供與しその銃はあつても彈丸がないと各村長の無遠慮な注文が續出した右終つて午後五時より支那街德彰飯店で懇談會を開き酒間に腹藏なき意見の交換をなし午後九時散會各村長連は一泊二十二日午前各滿足して歸村した

不遇の親子に 上等兵の美擧
時局の生んだ美談

【奉天】貧困な少女に金錢を惠んだ奇特な憲兵……市內三浦濟市氏は內地にゐる時事業に失敗して來奉し再興を圖り身を粉にして奮鬪したがこの深刻なる不況には全くどうすることも出來なかつたそして漸く知人の同情により露店營業を營みその傍ら長女の働きで辛うじてその日を過ごしてゐたのであつた

今回の 事變突發後營業益々不振に陷つたのみか最近痔病にかゝり收入はなくなるし費用は增すばかりにその日の生活に窮して來たそして官銀號に行つて現洋票を兩替すると幾分でも儲かるとの話しを隣人より聞き込み少女の城內における兩替は危險で差止めてあることも知らず官銀號に赴いた不審に思つた同所取締りの憲兵上等兵はその由を聞くと右の事情なのに深く同情し懷中より大枚五圓をその少女に與へて歸宅せしめたしかしこれを受取つたその母親は見も識らずの人よりこの大金を受取るに

忍びず 子供をつれて城東憲兵隊に赴きその返濟方を依頼して來た憲兵隊ではそんな覺えはないとのことに其親子は失望して一旦歸り翌日三谷憲兵分隊長宛この同情を感謝すると共に惠與された人の姓名を是非聞かして下さいと書信を以ての願ひ出により直に調査の結果阿部件治上等兵と判明した上等兵はあくまでこれを否認して容易に語らなかつたこの奇特な行爲に各方面から賞讚されてゐる

後援會合流

【金州】輿論の一致と愛國心の自發に依つて各處に成立されつゝある時局後援會は着々と實績を擧げてゐるが州內ではこれを一纏めにしやうとの聲が起り來る二十四日午後二時より大連市役所に於て第一回の州內各地代表者打合會を行ふべく金州時局後援會長宛に勸誘狀が届いたが金州としては既設されてゐる關係上、形式的の變化なくその儘行動を共にするものと見られてゐる

奉天小西關に 三名組強盜

【奉天】廿一日夜七時二十分小西關福堂胡同王鳳岐方に拳銃を所持する三名組匪賊侵入し主人を縛り上げて脅迫し現大洋二十元と金指輪一個を強奪逃走した奉天領事館警察及び憲兵隊では總動員で犯人の大搜査に努めたが發見するに至らなかつた

遼陽管外匪賊

【遼陽】遼陽縣第三分區管內灰窰村張某方に十九日午前十時頃頭目不詳の匪賊二十七名が闖入大洋三十餘元を掠奪したる上家主を人質に拉し大洋一千元を要求して同村附近の山中に潛伏中であると

湯崗子の 西方に匪賊

【鞍山】廿二日午前十時頃湯崗子西方約一里半の龍家屯部落に匪賊襲擊し金品を強奪して同村張錫三の胸部に貫通銃創を負はせ西方に逃走した張は午後二時頃鞍山滿鐵醫院に入院應急手當を施したが頗る重傷で生命危篤であると

奉天驛の火事

【奉天】廿一日午後七時半ごろ奉天驛構內夜警小屋より發火し大事に至らず消し止めたが原因はストーブの火で損害約五十圓であると

奉天

吉野氏追悼會

吉野直治氏の追悼會は廿一日午後四時から宇治町東本願寺に於て營まれたが各方面から多數參列があつた

遼陽

實彈射擊演習

遼陽駐箚部隊では二十三日午前十時から首山麓射的場に於て機關銃及擲彈筒の實彈射擊を實施した

鞍山

輪組臨時總會

鞍山輪入組合では二十一日午後二時より役員會を開き臨時聯合總會可決事項承認の件、臨時總會除會減口處理方の件、歲末謝恩賣出の件、共同カレンダー配布の件、前理事長神成季吉氏に對し記念品贈呈の件等を協議した

青聯支部總會

鞍山青年聯盟支部では二十六日午後六時半より社員俱樂部に於て臨時總會を開催し規約一部改正、幹事補員、時局方針等に就き協議すると

沿線往來

▲大森滿鐵理事 廿一日夜歸連
▲三島子爵 廿二日朝來奉
▲百武海軍々令部次長 廿二日老命廟往復
▲三浦關東廳內務局長 廿二日朝來奉
▲森本同警務課長 同上
▲二宮參謀長 廿二日老命廟へ
▲大賀博士 廿一日夜赴連

曙の鐘 (118)

倉田潮
河野想多畫

執念の鬼（三）

春木は壯三がたえ子を引きずり出したのを見ると、躍り出して二人の間に割つて入つた。

「何で邪魔をするのだ」と壯三は血走つた眼を見開いて、閃く斧を振りあげた「どけ、どけ！」

「そつちがどけ！」と春木はたえ子をかばひながら、壯三に對して身構へた「たえ子は僕の戀人だ」

「貴樣がゐた爲に、この俺も大山一家も……破滅させられてしまつたのだ。うーん、憎んでも餘りある……」

「それはこつちで云ふことだ。人の戀人を盜み監禁して、強て己の意を滿さうとする貴樣達親子が破滅するのは、人間一般の至福至慶だ。貴樣の親の剛太郎を見ろ、貧しい者の血肉をしぼつて高樓にすみ、詐欺によつて得た金で五指もなほ足らぬ妾をかこひ、奢侈の限りをつくしてゐる。現代の罪惡の標本だ。父の血は子に傳はる、貴樣がたえ子を無理に從はせようとしたのも、やがて父剛太郎の罪惡にいたらうとする第一歩なのだ。春木は絕對にさう云ふことを許すことは出來ないぞ」

「やかましい、どけい」

壯三はあれ狂つて斧をふりおろした。春木は一歩身をうしろに引いて斧をよけると、素早く短刀を取り出さうとしたが、何處へ落したのか見つからなかつた。壯三は春木がためらつてゐる間に、たゞ一と打ちで息の根を止めようと、大きく振りかぶつて斧を振りおろした。春木は橫に身をかはしたが廊下に踞るたえ子につまづいて、ひよろ〳〵と二三歩よろめくと、脆く廊下に折れるやうに倒れた。

「うのれ」

壯三はその上に跳びのつて、眞向に振りかぶつた斧を力まかせに振りおろした。

「あツ」

と叫ぶと春木は身をもだへたが手元が狂つて斧はパツと袂をうつた。その刹那に春木は立ち上つて身構へようとしたが壯三は右足をその腰にかけて今度こそは――と十分狙ひをかまへ、第二の斧を振りおろさうとした。その瞬間だつた。お夏がうしろから、ガバツと壯三に抱きつくと共に、たえ子が危險を忘れて、前から壯三にしがみついた。

急に加つた力に押されて、壯三はよろめきながら、左手の戶にごつと打つかつたが、

「何をする」

と狂猛な力で立ちなほりながら第三の斧を振りかぶつた。

しかし、その時春木は既に立ちなほつて、斧をふりあげた壯三の胸におどりこんでゐた。壯三は二三歩うしろによろめくと、ほあむけにドタリと廊下に倒れた。春木は折り重なつて倒れながらも、左手を延ばして、斧をもぎさらうとした。

「何をする！」

壯三は倒れたまゝ斧にしがみついたが、春木の力には敵しなかつた。斧をもぎさるると、春木は女の一人にそれを投げてやりながら、

「隱してしまへ」

と叫んで跳び起きた。そして續いて起き上る壯三を力まかせに蹴上げると、壯三はひばらにあたつたので、呻りながら廊下にのけぞつた。

そのひまに春木はたえ子と共に階段をかけ下りながら、逢ふ人ごとに、

「早く警察へ行け」

と叫び續けた。しかし、二階をおりようとした時、壯三がまた起きあがつて後を追ひかけて來たらしく、荒まじい足音が上から聞え出した。

けふの放送

大連 JQAK 十一月廿四日

▲午前七時 ラヂオ體操
▲午後六時十分 ニユース（以下內地中繼六時三十分芝の夕）
▲趣味講座「史蹟から見た芝」東京帝國大學史料編纂官文學博士渡邊世祐
▲講演「芝の現狀」芝區長船津新四郎
▲長唄「神明芝音頭」唄八千代、同まり子、同ふさ子、三味線〆壽、同吉二、同三四二、笛愛子、小鼓のんき、同〆子、大鼓老松、大鼓小千代
▲漫談「芝のいろ〳〵」西村樂天
蝶子連中
▲常磐津「芝八景」淨瑠璃小力、同房代、同あづま、三味線七七、上調子小萬
▲[illegible]「あげ潮」「しののめ」唄[illegible]、同小華、三味線筆助、同[illegible]
▲新民謠「ほつさけ節」平山蘆江作杵屋榮藏作曲唄久龍、同こさも、同久鶴、同好奴、三味線若駒、同照代、同蝶子（以下大連放送局より）
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース
▲中國劇「彩樓配」連東俱樂部々員

満洲日報

發行人 鈴木永昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 木村武雄　發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社　定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部 金五錢　廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

調査員派遣に關する日本案の内容を説明
芳澤代表ブ議長訪問

【パリ特電二十二日發】芳澤大使は調査委員派遣に關する東京よりの訓令に接したので本日午後六時ブリアン議長を訪問し私室に於いて調査委員に關する日本案の内容を詳細説明した、而して芳澤氏は辭去するに際し備忘録を殘して來たと云はる芳澤代表の説明内容は左の如し

日本は佛英米の三代表より成る委員會を提議するこの委員會には日支兩國代表が附隨せしめらるゝであらうが勿論各委員には秘書役及び通譯が隨行するものである、日本は委員を三名或は五名と限定するものでないが委員會は小規模の方が良いと思はれる而して委員會は條約不履行、日本の利益のボイコット其他多數の日支難關の危機に導いた支那と滿洲における一般狀態の調査に當るものである、又日支の直接交渉に干渉せず日本軍の行動を監視せざるものでなければならぬ

【パリ二十二日發】本日芳澤大使は理事會々議長ブリアン氏に對して聯盟が派遣すべき支那調査委員を英、佛、米の三國より各一名あて選び且つ日本及支那より各一名宛世話係を出すことゝされたしと提議した

一爭に關し論議を停止すべきことの一項を附加する樣提言する筈である調査事項範圍は滿洲に限ることなく又調査に期限を附することにも反對するとさなるが支那側がこれには反對すべく右調査委員會が最後的決定を見る迄には尚ほブ議長と日支代表間に數次の私的會合が行はるべしと觀らる

日曜日の巴里

【パリ二十二日發】本日は日曜に

日本側の要求

【東京二十三日發】廿一日の理事會で採擇された日本提案の支那調査委員會に關する決議案はブリアン議長の手で起草され日支双方の内諾を得た上で公開理事會に上程し最後的決定を見ることゝなるが日本政府は右決議案を左の如きものとなすことを要求してゐる

一、日支兩國は九月三十日理事會決議依然有効なることを挿記しこれを遵守しつゝあることを聲明す

二、理事會は日支兩國間に國際平和又はその基礎たる兩國間の良好なる諒解を攪亂せんとするの慎れある事態につき調査のため調査委員會を設けるしかして右委員會は

イ、日支兩國の懸案解決の直接交渉に干與せざること

ロ、日支兩軍の滿洲に於ける行動につき何らの批判的言動をなさざること

なほ委員會の報告作製を終る迄理事は日支紛

共和政體の新國家
近く東三省に建設
宣言書起草に着手

黑龍江省の獨立を最後に東三省は玆に全く獨立し奉天、吉林、黑龍江を基礎として共和政體の新國家が建設される事となつた組織宣言書は目下起草中で二十五日迄には發表される模樣である【奉天電話】

チチハルから
=山口特派員撮影=

チチハルについた皇軍の軍用列車（上）チチハル城附近におけるわが騎兵の活躍（下）

國民政府に反駁的回答
重光公使より

も拘はらず當地では盛んに滿洲問題に關する外交上の活躍が行はれ施肇基氏はドーズ氏と會見し英代表サイモン外相は松平代表と會見した後ドーズ、ドラモンド兩氏と同時に會見した

【上海二十二日發】重光公使は黑龍江事件に關し十八日附の支那側抗議に對し本日國民政府に日本政府の反駁的回答を送達した其の要旨は本庄軍司令官の馬占山に對する三項目の要求は内政干渉に非ず又日本軍のチ、ハル方面進出は橋梁修理不履行と馬軍の不當なる我軍攻擊に基因するもので今回の責任は馬軍の非行を抑制せざりし國民政府にある事を強調したものである

支那紙聯盟攻擊
「最後の反抗が活路」と

【上海二十三日發】聯盟の情勢支那側に不利と見るや聯盟怨嗟の聲が各方面で高くなつて來たが本日の新聞報は社説に於いて「聯盟の眞相暴露す」と題し

一、討論範圍を制限し支那代表の發言の時間を封じ

二、支那の報告は取上げられずチ、ハル陷落、鹽税強奪等問題にされてゐない

三、日本の提案は毫も讓歩の色なく撤兵を拒絶し不戰案を突きはれたに拘らず理事會は日本の態度を是認するの態度を示してゐる

聯盟の態度斯くの如き上は支那は日本に屈服するか最後の抵抗を試みるか抵抗は困難多けれどこれが唯一の活路である、全國民の決心を望むと論じ又申報は「聯盟遂に容れるか」と題し民國日報も社説を掲げ何れも調査委員派遣の建議を受け日本の調査委員派遣に反對し日本の附帶條件を攻擊し聯盟は支那を脅迫するものなりとし聯盟の不信任を表示してゐる

蔣氏北上の眞肚裡
煽動されるが儘に亂舞する
張學良氏の運命迫る

蔣介石氏の北上に關する判斷は支那中央と支那將來の運命に關する重要事項であるが、諸情報を綜合すると蔣の北上は

一、蔣氏自身が軍首腦者としての自己保善策に出づること

二、蔣氏はこれにより河南到着後河南、山西、河北に勢力圈の振張を圖り先づ張學良氏を血祭に上げて北支那を牛耳り

三、こゝ暫らく從來の如く張學良氏をして閻錫山、馮玉祥、韓復榘氏等反蔣色彩軍を制壓し、この間よし廣東派の反蔣勢力が北進することあるも既に長江下流の軍隊配置概れ計畫の如く完了しあると陳齊宣氏により廣東派の切崩しの見込みある等によつて廣東政府を牽制する

この三條件の見當がつき、以上の三點に決心の基礎を置いてゐる模樣でこれによつて東三省に實庫を有しておつた張學良氏を利用せんとしてゐるものである張學良氏は蔣氏の肚裡を察せず煽動されるが儘に亂舞して東北省の馬軍に日軍攻擊を命令し、ために今日の自己破滅に瀕したるものである、蔣氏は張學良氏の愚才なるを四年前洞察してゐたもので、今や張學良氏の肉を喰ひ、骨をしやぶり遂に張學良氏を排して北支那乘ツ取りに一歩を進めたものと見るを至當とし張學良氏の運命は年末と共に迫りつゝある【奉天電話】

チチハルの奪回を計畫
馬軍海倫に集結

【チ、ハル二十二日發】馬占山は去る十九日午前四時倉皇としてチ、ハルを脱出し海倫方面に向ひ目下海倫に敗殘兵を集結中である事判明した、而して馬占山は蔣介石張學良の激勵電に依つてチ、ハルを奪回せんと計畫中だと

將領連は從はず
主席辭任も近い内か

【上海特電二十三日發】蔣介石氏は目下來會中なる各省將領を招待しその意志の疏通を圖つたが目下の狀勢上從來の雜色軍の將領は表面擁護の態度をとるも蔣介石氏の北上の件に關しては灰色の將領は内心これを歡迎し寧ろ速かに其實現を慫慂しつゝあるが自らその軍を率ゐて共に北上するについては地方治安維持を口實に首肯せざる下心である從つて蔣介石氏の北上聲明は例の如く民衆を收攬せんとする口先のみの仕事にして中外人共によく之を知悉したるになほかくの如き事を公然せざる可からざる境遇に至つては蔣介石氏の信賴日と共に落ち蔣は遂に主席を辭すは遠くないと一般に信ぜられてゐる

日軍撤退せば省城を奪回
馬占山に訓電

チチハル來電に依れば馬占山は二十一日夜海倫に到着直に同地に省政府その他各機關を開設又黑軍を望奎、海倫、拜泉、克山、訥河の各縣に分置し警防に任ぜしめ今後の處置に關し學良及び萬福麟に指令を乞ふたがそれに對し學良は馬占山を慰籍激勵すると共に現在地附近に於て實力を保持し且丁超及び李杜と連絡し日本軍チチハルを撤退せばチチハル省城を奪回せよと命じた

馬占山に訓電

【北平二十二日發】張學良氏は廿二日附を以て馬占山軍に對し部隊を整理し防備をかためて國土を守れと訓電を發した

北平接收を閻馮に電請

上海來電によれば廣東の四全大會代表有志百十二名は連名にて閻錫山、馮玉祥に對し張學良に代つて北平を接收せよと電請した【長春電話】

廣東四全大會

上海來電に依れば廣東四全大會は蔣介石を第四次中央委員に選擧する件として

一、抗日の決心を表示すること

二、前言を守り引責下野すること

の二項を主張しつゝあり、第一章は之に依つて蔣介石を益々窮地に陷れんとする魂膽明かである【奉天電話】

王氏等を彈劾

【天津二十二日發】市黨部は中央黨部に對し河北省政府と天津市政府の排日取締は民衆の愛國心を抑壓する賣國的行爲であると王樹常張學銘兩氏の彈劾電報を發した

正規兵撤退し便衣隊を配置

【天津二十二日發】我抗議により正規兵の二十支里外撤退は昨日迄に終つたが反張便衣隊に備へるため正規兵を便衣隊に改編し市中に配置した

杭州學生一千宣戰布告請願

【上海二十三日發】杭州の中等學校以上の學生團一千名は二十二日當地通過南京に向つたが右は政府と四全大會に抗日經濟絶交宣戰布告を請願の爲めであると

顏惠慶氏赴任

【南京二十二日發】駐米新任公使顏惠慶氏は二十二日來京したが廿日エムプレスエシア號で赴任す

シャール氏逝く

【パリ二十二日發】佛國下院議員で急進黨左派の領袖として有名なるイ・ル・シャール氏は本日午後二時三十分死去した享年五十九

人事

▲河上哲太氏（衆議院議員）廿日入港あめりか丸にて來連

表面平穩の政界に尚一抹の不安漂ふ
協力内閣運動の暗流

【東京特電二十三日發】協力内閣問題の前途は廿二日の若槻首相と安達内相の會見並に黨出身閣僚協議の結果現狀の儘で進む事に意見一致し表面は一時的にも問題の結末をつけたやうであるが實際は安達内相は自己の抱懷せる協力内閣論を放棄した譯でなく今後とても四圍の情勢變化に應じ安達内相を繞る協力内閣運動は深まり行くものと豫想され政局の前途は依然として不安の念に驅られてゐる、

久原氏犬養總裁と協議

【東京二十三日發】安達内相の協力内閣説に對し政友會の久原幹事長は廿二日午後犬養總裁と協議を遂げたが久原幹事長は安達内相の聲明が一個人としてか黨としてか不明である交渉あらば考慮すると語つた

滿鐵社員の努力感謝に堪へない
内田滿鐵總裁歸連談

時局の重大性に鑑み奉天に出張滯在中であつた内田江口正副總裁は山西理事を帶同二十三日午前八時久方振りで歸連した、驛頭には滿鐵各次長、課長其他官民多數の出迎へあり内田總裁は直に星ケ浦の私邸に入つたが往訪の記者に語る

僅か十日間だが大部長かつたやうな氣がする、今後も必要があれば行くが理事一名は居て貰ふつもりだ、國際聯盟が調査員を派遣するやうだが支那が反對してゐるらしい、出來ないことはあるまいが支那が反對してゐては都合が惡るからう、支那の鼻息は恐ろしく荒いやうだな、張學良などはどうしても闘外に出し一戰を試みるなどと言つてゐるらしいネ、今回の事變以來滿鐵社員は當方からの指令を待つまでもなくそれぞ〳〵自からの立場に從つてよく働らいてゐる、江橋の鐵道橋修繕などには彈丸を浴び乍ら任務を遂行したがその他一般に社員は全く獻身的努力を續けてゐるのは感謝に堪へぬ、軍隊側もよく諒解してくれてゐるので夫々連絡を保つて働いてゐる、これは滿鐵社員がよく滿鐵の立場を理解してゐる結果である、滿鐵請願巡査のことは詳しく聽いて見なくては判らない

蛇角

けふは限りなき御神德により新穀の稔りを得てこれを神に供し感謝する新嘗祭。

◇

この良き日皇軍の武威滿洲野に輝き、吾等安らけく豐穰の秋を壽ぐ、大君の御稜威畏し。

◇

調査員の現地派遣は有意義、滿蒙を拓いた日本の努力を正視することが聯盟の蒙を啓く所以。

◇

そして「支那とは何者ぞ」を解すべきである。

◇

南京の新聞界張學良を國賊なりと罵る、その國賊を排擊してやる日本に感謝すべきである。

◇

聯盟に賴りアメリカにすがり双方共不利とみて今度はロシアに泣きつく、日本は最後に賴られるまで待つてゐる。

◇

▼寒零下三十度、忠勇なる我將士に凍傷者多しと聞く、既國の人々に傚心あれ。

東亞の謎（133）
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

危機から危機へ（七）

廊下を左へ曲がつたからであるそこで伯と次郎とは、曲がり角まで急いで行つた。

捧げてゐる龕燈の青白い光に、かづいてゐる女達の白の破衣が、いよいよその色を白く見せ、それが歩く毎にユラ〳〵と搖れ、さういふ行列を左右の圓柱が、廊下の壁と共に送り迎へし、穹窿形の天井が、さういふ行列を見下ろしてゐる。

それは一面陰々しく、一面幽鬼的の光景であつた。

伯と次郎とはその後を追つた。さ、行列の人影が、一人々々順番に消えて、やがてすつかり見えなくなつた。さうして其後へ楕圓形の、黒い穴が立つてゐた。

廊下の行きどまりに出入口があり、そこから行列が消えたのであつた。

二人は其處まで行つて見た。

と、眼の前にあつたものは、茫々とした空地と星空と、空地の彼方、星空の下に、聳え立つてゐる圓錐形の、喇嘛寺院と寺院の方へ進む、例の女達の行列とであつた

さうして空地を遠く圍んで、四方に巍々とした城廓があつた。

その空地は中庭であり、同時に寺院の境内であつたが、中庭といふには餘りに廣く、蕭殺としたものであつた。さうして勿論これらのものは音車頓城の城内の、一劃を占めてゐるものであつた。

行列は寺院の方へ進んで行く。で、二人も其方へ進んだ。

やがて行列は喇嘛寺院の、正面の口から一人々々、堂の内へ消えて行つた。

二人も寺院の入口まで行つた。

×　×　×

洋子と南部とは部屋にゐた。

さうして窃そり忍び込んだ。

伯爵と次郎とが立ち去つたので部屋の中が寂しくなつた。何

「そりやアお孃樣と云ふ迄もなく、あんな沙漠の蠻王より、刀水會の會長の方が、勝つといふことは明かです」

「そーオ、怪しいわれ、迚も怪しいわ、あたしの見たところ也速該の方が、あんたより強さうに思はれてよ」

「違ひますな、大違ひです。私はこれでも唐手の名手で、右の拳一つだけで、二人と三人の生命など譯なく奪ふことが出來るのですよ」

「ちやア先刻武器が欲しいなんて弱い音吹いたの何うしたの」

「あゝナール程、さうでしたな。「理由があるつて云ふんでせう。駄目よ、卑怯だわ　そんな云ひ譯……あたしれ、こんなやうに思ふのよ、我が偉さうな刀水會長は……」

「偉さうな、ふむ、偉さうなと……」

時城主の也速該が、部下をこの屋へつかはして、洋子を奪はうとするかもしれない。そこで南部は責任があり、氣を配つてゐなければならなかつた。そこで彼は腰かけ、肱を張つて欄へ込んだ。の前へ、ソファーを据えてそれへ腰かけ兩脚を垂らし、それからラく搖すぶつて、南部へ冠ひかけたりした。

「ねえ南部さん迚も似合つてさうやつてあんたが大威張りで頑張つてゐると豪傑に見えるわ」

「也速該城主と取ッ組ましたら何方が勝つかしら」

すると南部は洋子の方へ向つた主人の令孃の愛くるしい洋子こんな境遇に居りながら、少しも恐れやうとも悲しもうともせず、そんな冗談を云つてゐる勇氣を我意を得たといふやうに、て磊落に笑つたが、

總攻擊に殊勳を樹てた わが勇敢なる兩中隊

掩護の任務と第一陣の突破

二十二日チチハルにて 栗栖特派員發

十七日夜より我軍左翼掩護の特別任務を受け僅に一個中隊を以て白頭街を守備し、十七日には小部隊を以て優勢なる敵を擊破して敵陣地を占據後、十八日の我軍の總攻擊に當つては巧に我軍の攻擊の進展に伴ひ敵の左翼に對し猛烈な攻擊を敢行してその進出を阻止し英老爺墳の敵陣地を陷れ進んで福古殿で十數倍の敵に對し午後三時より六時まで三時間に亘る激戰の後遂に之を占據し以て當日の**總攻擊を容易ならしめ戰術的に見て模範的な左翼掩護の任務を果し殊勳を樹てた**歩兵第○○聯隊第○中隊長歩兵大尉宮崎忠雄氏を南大營の兵舍に訪れると、折柄氏は大隊本部に在つて曹長に口述筆記せしめつゝあつたが、地圖を開いて一々地點を示し狀況を說き極めて無雜作に

何も手柄を樹てたといふ程のことはありませぬ、命令通り左翼を掩護するため適當に働いたまでの話です

と簡單に切りあげた、更に十八日の總攻擊に敵の第一陣地の中堅たる三間房陣地で**野砲二門、機關銃三、迫擊砲二門、歩兵二百を以て守備した敵陣地の眞正面に向つて進擊し遂に之を陷いれた殊勳**の中隊たる第○○聯隊第○中隊を訪へば中隊長代理たる渡邊歩兵中尉は極めて快活に

攻擊準備した陣地から前進を開始したのは午前九時四分で敵陣地まで約七百メートル、隨分猛射を受けたが約百廿メートルまで接近すると彈丸が一發も來ないからその百二十メートルを一氣に突擊しました、更にやゝ東方に旋回して昂々溪驛に向つて追擊前進に移ると**尖兵小隊長神野原曹長先づ倒され次いで小隊を指揮した岩崎伍長勤務上等兵も倒れ大原上等兵も戰死**しその他忠勇なる兵士の多數の死傷者を出したるは遺憾でした

と語つた、この中隊は前に鄭家屯西方にて馬賊と敗殘兵との聯合部隊と苦戰し**中隊長栗原大尉は戰死したといふ名譽をもつ中隊**で以上は今次の衝突における殊勳中の殊勳部隊である

チチハルに着いた 三間房戰死者遺骸

けふ邦人墓地で火葬

【チチハル特電二十二日發】三間房附近で名譽の戰死をした歩兵第○○聯隊五本軍曹滿口軍曹以下十二名の遺骸は二十二日チチハルに到着したが、二十三日邦人墓地において荼毘に附する筈である

南天棒師渡滿

【東京二十三日發】東京牛込區市ケ谷富久町の乃木參禪道場の第二世南天棒平松亮卿師は滿洲派遣軍慰問の祈願をこめた御守二萬枚と牛込西部聯合町會在鄕軍人牛込分會富久町小學校よりの慰問品慰問文等を携へ二十三日午後一時東京驛發渡滿する

旅順師範生 視察團歸る

旅順師範學堂朝鮮臺灣視察旅行團一行二十名は同學堂教授富山民藏氏に引率され約三週間の旅行を終へ廿三日入港あめりか丸で歸校したが富山教授は語る

主として植民地の教育視察並びに産業狀態をよく見て來ました朝鮮における鮮人教育、臺灣における本島人教育、多いに我々に參考になりました、特に臺灣の教育施設並びに教授狀態は中々長所が認められました

オリムピック派遣費フランスで半減

【パリ二十二日發】明春オリムピック大會に派遣されるフランスチーム派遣補助費は原案百二十二萬フランのところ本日下院財政委員會はこれを六十萬フランに半減した

軍隊へ御神符

壹岐每日新聞社大杉賢氏は同地代表として住吉神社御神符一萬五千をもたらし軍隊慰問のため廿三日入港あめりか丸で來滿した

政黨に關係なく 軍隊の慰問に

けさ來連した河上代議士 最近の政情を語る

わが社會教育界に重きをなす政友會代議士河上哲太氏は廿三日入港のあめりか丸で來連したが、支那問題並に最近の政界の動きにつきサロンで語る

今度來た目的は元來自分は社會教育會理事として主に青年訓練所に關係あるもので是非この會から今次事變に御國のため活動する軍隊慰問をしたいと云ふ心組みから來たもので政黨とは何等關係の無いものである支那に對してはその不正義な彼等をこらしめるために曾つて

田中內閣の當時濟南に出兵實力をもつて彼等を膺懲したが當時は日本側の宣傳と日本側の正しさが判然と列國に理解させてあつたので今度の樣な干涉がましい問題は起らなかつた、從つて今度の樣に國際聯盟あたりにぐずぐず言はせたのは結局幣原外相の失敗と見ても好いだらうが、その後軍部の強硬意見が通り又パリにおける會議も好轉しつゝある樣だからこの際更に國論を統一してこの國家存亡の重大時機に處すべきだと思ふ今度の事變に對しては誰の意見も

最後までやり通せと云ふ意氣込みで例へ政變があらうがこの點は狂ひがない、初めから一貫した方針のもとに外國に口を出さしめず我主張を強調すべきだ、聯立內閣、中間內閣說が傳はり安達內相邊りが策動してゐる樣だが、何れにしても國內の財政經濟狀態が確固たるものにならねば噓だと思ふ金輸再禁止或は豫算問題等々をすべて放棄して新しき政策のもとに進むならいざ知らず、まあ今のところでは政界に一つの變化が起きつゝある事を明白に示した位に過ぎない

政友會にしてもそんな仕方なしで引張られる樣なものには應ぜまいし安達さん以外の者への人もあらうしまたこんな說が出たのは民政黨內閣窮餘の策だらう、國際聯盟では調査委員を派遣する事に決定したらしいが單に視察といふ程度なら外國武官の視察も前例のある事だし好いだらう、しかし中々可通な通り一遍の視察を種に權柄づくでごうのこうのと云はれちやたまらない、芳澤さんの失言問題、あれは何か誤傳だらう、あの人に限つてそんな下手はしないと思ふ、軍隊慰問と同時に

中學時代の友人十河理事と一度會ひゆつくり視察して行く氣だ、滿洲には御大典の折衆議院視察團代表として來た事がある

旅順聯隊の 戰死者氏名

本日までに六名判明

昂々溪戰鬪において旅順駐剳歩兵第三十聯隊の戰死者中二十三日までに判明せるものは第二大隊副官井上中尉、聯隊本部附水口二等主計、第二大隊附岡村二等主計、原雨計手、狩浦上等兵以下九名負傷者七名行方不明九名である【旅順電話】

運送店主の自首で 密輸事件俄然進展

けさ日本人四名外人二名拘引 中心人物檢擧迫る

滿洲事變を當て込んで武器賣込みを企てた賣國奴的密輸團の檢擧に就いては既報の如く千葉大連署司法主任が自ら沿線に出張搜査の任に當ると同時に大連市內の搜査は吉富警部補主任となり刑事不眠不休の大活動を續けつゝあつた矢先二十二日夜、某國外人及び日本人某々等から委託されハルバン宛に密輸武器を發送した市內某所の運送店々主立石某が「新聞を見て遁れられぬを知り自首しました」と大連署司法係に出頭し、犯罪の顛末を逐一自白するに至つたので、俄然搜査上に光明を投げかけ、二十三日朝來、司法係刑事は頓に緊張し、自動車、オートバイに分乘市內山縣通某貿易商を襲ひ家宅搜査のうへ井上某外三名の日本人及びアメリカ系の外人二名を拘引、直に留置し嚴重取調中である、これを以て五里霧中にあつた事件の內容も茲兩三日中には鮮明となり、賣國奴的意外の事實が暴露するものと見られてゐるが、大連海關の傭人董孝友(二五)の如きは上司の手許から公務用の印鑑を盜み出し、一味を密輸品に對して通關の便宜を與へてゐた事實、吾妻驛員二名が驛の構外にて密輸品を車內に積み込み、巧に奧地に輸送してゐた事實は彼等の自白によつて動かぬところとなり、武器を密輸してゐた中心人物も今明日中の取調によつて判明する模樣である

路上で酌婦に 藥をかける

顏がふくれ上り激痛 自廢にからむ兇行か

廿三日午後十一時ごろ市內逢坂町遊廓開春樓抱酌婦鳥江こと原田キヨ(二二)が所用の歸途、春日小學校前を通行中、尾行して來た三十歳前後の中折帽子に黒のオーバーを着た遊び人風の男がキヨに近寄るなりスポイト用のもので顏面めがけて瀧鹽の藥物を注ぎかけたのでキヨは驚き身をかはし、瀧鹽は首筋から背後にかゝつた、その時キヨが「失禮なッ」と顏を上げた瞬間再び顏一面に藥物を注ぎかけ、なほも危害を加へんと摑みかゝつて來たので女は「救けて」と悲鳴を掛け男に抵抗中春日小學校の某教員が駈つけたので怪賊は逸早く常盤橋方面に逃走した、被害者キヨは直に顏面及び眼部に激痛を感じ見る見る間にはれ上つたので馬場眼科醫に駈つけ手當を受けたが藥名は目下のところ不明である急報により大連署で犯人嚴探中であるが、兇行目的は痴情か、怨恨か、惡戲か全く判らず、搜査上困難を來してゐる、キヨは去る七月以來休業し自由廢業の意志で仕替にも應ぜぬので樓主もほとほと手を燒いてゐる莫連者であり、或はこの間或るものゝ指金で同女に危害を加へんとしたものではないかと見られてゐる

長春警備充實

歩兵○聯隊缺員補充の爲め原隊から派遣された○○名は今朝七時盛大なる官民の歡迎裡に意氣衝天の勢ひで到着殘きながらあきとなつて居た營舍は俄に賑やかとなり警備手薄のため種々の風說に膽を冷して居た市民は安堵するに至つた尚當地から出動した平田少佐の率ゆる飛行○中隊の○機は愈々今朝歸ると朝電報されたが當地今曉來大降雪あり晝なほくらき惡天候なれば或は雪の晴れるを待つかも知れぬと又長春の飛行隊は十八日來の戰鬪に鄭家屯泰來大興と根據地を進め大活躍をしたが地上勤務の兵が流彈にたほれた外は無事の模樣である【長春電話】

モリソン氏逝く

【東京廿三日發】日本における外國人の古參者として知られてゐるゼー・ビー・モリソン氏は豫て老衰病で鎌倉の別莊で療養中であつたが二十二日午前十一時四十五分長逝した享年八十七、氏は英國スコットランドの生れである

擧國一致

(上圖)第一戰に決死の奮戰をする我勇士(山口特派員撮影)(中圖)けさ駐滿軍隊慰問に來連した京都商業生(下圖)帝都に於ける學生聯盟の滿蒙慰問デーの街頭慰問金募集

滿洲から歸り 市民に報告

京都商業慰問團來る

手ぬぐい一萬三千本と京都市中の各神社神符三百をもたらし駐滿軍隊慰問のため京都商業學校慰問團一行十二名は高田野村兩教諭志波教官に引率され廿三日入港あめりか丸で來滿したが、兩教諭は交々語る

意味のある運動を起し精神的に學生の氣持をハッキリさせようと云ふ考へで京都の中等學校のトップを切り慰問團を組織して來たのです奧は長春まで各地の部隊並びに傷病兵を見舞ふつもりですが、出來ればハルビンに行きたいものです、それにこの旅行の今一つの仕事としては歸落してから報告講演會を開いて一般の人に中等學生が見た滿洲事變と云ふものを御話をしたいと思つてゐるのです

六人の子供を 賍品で養育

母親は家庭を顧みず

市內惠比須町七七番地設計請負業藤田平三郎(四一)は今春來市內小學校、滿鐵本社、市役所、民政署などを根城にオーバー、子供用の靴、着物を專門に四十餘件の窃盜を働き二十二日夜大連署和田、江藤兩刑事に逮捕された

藤田は鄕里福岡の工業學校を卒業後內地各縣廳の技師を歷任、高等官五等の肩書を持つてゐるが、彼の妻サク(三二)は十五を頭に六人の子供を抱へてゐるながら斷髮洋裝で流行の限りを盡し十餘回も家庭を捨てゝ飛び出したといふ家出のレコードホルダーで、子供などは一切顧みず今春來カフエースター外喫軒を女給として轉々移り替り、情夫を持つて駈落ちするなど多情の女で、遂に夫平三郎は自暴自棄となり、盜んだオーバーを入質しては生活費に當てたり、子供が靴や着物をほしがれば、各小學校へ忍び込んでは盜み出し、六人の子供を殆んど賍品をもつて育てゝゐた

秘訣公開 醫學的美顏法

現代婦人の大きな惱みであつたにきび・油顏、あれ、しみ、はたけ、痣、ほくろ、瘢痕等の根治法を女醫風間種子女史が婦人倶樂部十二月號に發表、婦人方の大福音です

天氣豫報

二十四日 北西の風 晴

各地溫度

	廿三日午前十一時	廿一日最低
大連	九、一	四、九
旅順	一〇、六	四、四
營口	三、八	〇、八
奉天	一、五	零下一、五
長春	零下四、四	同六、九

四男利夫儀 姫路高等學校在學中發病鄕里(愛知縣龜崎町)に於て療養中の處本月二十二日死去同地に於て葬儀相營み申候間此段辱知各位に御通知に代へ謹告仕候也

追而來る二十四日午後四時當地東本願寺に於て追悼會相營み可申候尚ほ勝手乍供花放鳥の儀は御辭退申上候

十一月二十二日

父 間瀬增吉

暗流阿修羅館 (251)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

家治病む（十五）

醫師の敬順は家治の脈を診るとそのあとで胸を診た。

家治は、わづかに眼をあけたがまた物憂氣にふさいだ。

敬順は、そうつと蒲團をかけて一禮して後退つたが、意次のそばまでくると、長多さうに眉をさげたまゝで、意次に小聲で、しかし水野忠友にも聞えるほどに、

「お靜かです、別にお變りはないやうでございます」

と云つた。

意次は頷いて、

「まだよい方に向はれぬかな」

「昨日よりはよほどお樂になられたやうでございます、今日も、また少し調劑を變へて見ますでございます」

「さうしてくれ、かうなればもう

も、意次はこくりこくりと居眠りをしてゐる。

實際幾日も詰めきりだから疲れてゐるのであらう。三日に一度は退出することはあるが、實に勤勉である。

意次は目をあけた。そして、將軍の顔を見た、將軍はよく眠つてゐるので、その瞳を忠友の方にうつして、それから坊主を呼んで茶をいれさせた。

が、むつつりとして忠友にも何とも云はぬ。いつまでも忠友が退らぬのを近頃迷惑してゐるやうに、される。

「ほんとに、お疲れの御容子、一日一晩だけお代りしませう、どうぞ、その間、ゆつくりお休みになつて下さい」

忠友は、頻りにすゝめた。

意次は、どうしたのか、

「それでは、そのやうに云はれるのなら、代つて貰ひませうか」

と云つた。

「さうなさい、その方がいゝ、そしておれたお休めになつた方がよろしい」

「ありがたう、ではさうしますかな。他の人とちがつて、水野殿なら安心ぢや」

「その樣に云はれると何だか一寸責任が重くなる、つらくなりますれ」

「いや皮肉でも何でもない、ほんとにさう思つたからです」

それから二こと三こと云ひおいて、意次は

「ではお願ひします」

と意次は退出した。廊下まで、お紅の方が追ひすがるやうにして送つて行つた。

忠友はあらためて、あたりを見廻した。

お紅の方はなかなか部屋に戻つて來なかつた。

いまは、この病室に將軍家治と水野忠友のたゞ二人である。

もう一度何か耳を澄ますやうな風をしたが、家治の枕頭に近よると枕紗をはねて見た。

其處の盆の上には二つの瓶と、水差と、二つの茶碗があつた。小さい筒形の湯呑茶碗に手早く、瓶の藥をついで、懷から懷紙を出して丸めるとその中に入れた。これは、この懷紙に藥を沁ませるためであらう。そして、それを、その茶碗のまゝ、内懷ふかくしのばせてしまつた。

そ知らぬ顔をして、枕紗をもと通りにしてもとの坐に戻つたところ、お紅の方の廊下を引返してくる絹摩れの音がした。

「よくお眠みでございますれ」

「藥のせゐではないだらうか」

忠友は何氣ない風に云つた。

「さあ」

大岡政談魔像解決篇 伊藤、唐澤、大河内の名トリオでファンを唸らせた林不忘原作「大岡政談」もいよいよこれで解決される、大河内の越前守、喬之助、右近の一人三役、高木永二の長庵、泰軒の一人二役をはじめ海江田讓治、小川隆、山本禮三郎、久米譲、葛木香一、尾上桃華、伏見直江、梅村蓉子、吉野朝子、山田五十鈴ら時代劇部オールスターキャスト【廿四日から帝國館上映】

キネマと演藝

右太プロと日活提携 不二とで全プロ

あやめ池の右太衛門プロが對松竹キネマとの契約滿了後に於ける方針について種々取沙汰されてゐるが、其の一は現在の右太衛門映畫及び谷崎映畫の外に現代劇部を新設某社一流スターをその一黨と共に引拔き入社せしめ所謂全プロ組織のもとに完全な獨立をなし、その二は目下問題の不二映畫を聯盟して直營館以外の松竹キネマ系の各常設館主の支持を受けて松竹キネマの牙城にせまる等々其の去就について斯界の注目を一に集めたかの感あるが、最近右太プロ所長山口天龍氏は某氏の仲介に依り、日活專務根岸耕一氏と秘密裡に會合可成有利な條件のもとに配給契約に關する覺書を手交せるものゝ如く右契約の成立によつて、日活は外殼契約完了せる現代劇の不二映畫と新に時代劇の右太衛門映畫を得るわけで右を打つて一丸とせる全プロ配給に依り斷然として松竹キネマに猛撃を加へんとするものである、若し該契約成立の曉は必然松竹キネマにとつては致命的な脅威となり、さらぬだに業績不振に依る内部的な混亂の彌縫策に腐心せる松竹キネマは、今や内憂外患交互に到るの體で同キネマ系の常設館主等は其の成行に頗る不安を抱きつゝあるかの如く見受けられる

映樂館の開館プロ メトロを上映

西廣場の映樂館は工事八九分通り竣工し十二月五日頃開館の豫定で準備を進めつゝあるが、上映々畫は既報の如く外國各社作品で開館記念興行はメトロ社作品と決定しセシル・B・デミル監督コンラッド・ネーゲル、ケイ・ジョンソン孃主演「ダイナマイト」十三卷發聲版（部分トーキー）及びニック・グラインド監督メリー・ローラー孃スタンレイ・スミス主演「有頂天時代」十一卷發聲版を上映と決定した、なほ第二、三週ともメトロ作品で第二週は「肉體の呼ぶ聲」「エロチック艦隊」第三週は「キートンの決死隊」「スピードウエイ」である

噂話

メトロの大阪支社から映樂館と契約した旨を通知して來た▲その結果常盤座で豫告してゐた「エロチック艦隊」も映樂館の第二週目に上映されることになつた▲この經緯について常盤座ではメトロから全プロ契約を求めて來たが、同座としてはレヴユウその他の立物も入れなくてはならないので▲全プロ契約には應じ兼ねる旨を傳へたので遂に映畫館と契約したものらしいと▲ところで常盤座は次週のプロを俄に變更してウファ社の發聲映畫「眠れよ我が子」を上映することになつた▲この映畫中には藤原義江と關屋敏子がビクターに吹込んでゐる「グラームスの子守唄」が挿入されてゐるので▲早速廿三日から休憩時間中に此レコードをかけて大いに宣傳する▲大日活は開館三周年記念興行として「雪の渡鳥」を大衆料金で公開することに落着いたらしい▲けふで開館第一週興行を終へる帝國館は尻上りで物凄い人氣を集めてゐる▲きのふの如きは晝間から補助椅子を出し切るといふ大入滿員で氣勢をあげてゐるが▲第二週は「大岡政談」の巨彈に僚紙大連新聞社の後援に力を加へて華々しく頑張つてゐる

本社特選 新棋戰（其八）

香落 四段 △坂口允彦
二段 ▲松田政雄

【圖は前號指了迄の局面】
▲松田氏「持駒」飛桂歩歩
△坂口氏「持駒」角金金桂香歩歩

▲七九飛打 △五九歩
▲七八飛成 △七四歩
▲六七歩成 △二四桂打
▲同歩 △二三角
▲三二銀 △二二金打
迄にて坂口氏の勝

【土居八段總評】□松田君は始めて上京評者の道場へ來り日本將棋聯盟へ入會した前途有望の青年で流石に相當の實力は保ちゐるも、序の研究皆無なるは本局を一見して明かである□最初六九兩筋より開戰したのは可なるも、八四飛の無益の手段を弄し却つて攻撃に支障を及ぼしたのは拙策である續いて七四歩の誤算を演じた爲香車損を招き以下攻勢をあせり、其工夫を誤つた爲益々胸損を生じ苦戰に陷つたのは始めての對局なれば些か堅くなり過ぎた傾向あるも、要するに其作戰の淺薄が原因である□それに反し坂口君は青年選手であるも流石に實戰に場なれてゐる丈けあつて作戰頗る巧みにして、敵の無謀の攻勢に對し機徹なる手段を用ひ敵を指切らし壓倒的に勝を得たのは平素の修養の賜である。

【萩原六段解說】松田氏の七九飛は次に三八角成の含みであるが、敵に五九歩と受けられては最早や見込みない。坂口氏七四歩は穩かな手で敵角の利きを止め安全であつた次に二四桂打により二三角打となつて三二銀では二二金と打たれて必至となる。この二四桂の捨て駒の順はよく出來るものである。

健康は國の礎 ―― 寶の山より健康

ヴィタミンAB保有

胚芽米の妹姉品

主食糧の合理化

特許精糧式精穀機
特許願中精糧式精米法 による

絶對無砂搗き

精米界の王座

登錄商標 **眞珠米**の出現

名の如く眞珠の樣な美しいお米で榮養、美味、經濟三拍子揃ふ大衆向き理想の精米です

胚芽米は榮養本位であり白米は榮養乏しく本品は色合い舌ざわり白米と異りなく榮養と味覺は白米の比でなく遙に優れ經濟上には淘洗による榮養成分の消失少なく釜増へのよき德用米で全く合理的食糧米です是非御試食の上御常用をお奬め致します

販賣所 各購買組合、三越食料部、米穀店食料品店

何故に混砂搗白米は排斥すべきや

◎混砂搗白米は疾病を招く　白米の常食は榮養成分の缺陷から脚氣病一名白米病に罹る事は今更申迄もなく衆知の事柄でありまして我國一年の罹病者一百萬人を越ゆると學界で推定せられて居ります脚氣病其ものは死亡率が高くなくても餘病を併發して倒れる人員は隨分多いのであります國立榮養研究所佐伯博士は胃潰瘍、胃癌も混砂搗白米の常食から起るものありて發表せられて居ります白米常食の如何に恐るべきかを考へますと誠に戰慄を禁じ得ないのであります

◎混砂搗白米は不經濟　白米の仕上には白い石粉で化粧してあります陸軍糧秣廠宇品支廠の試驗成績に白米一石に化粧砂一貫匁附着せしむる事を得たと發表せられて居ります白米一石は約三十八貫でありますから二、六%の有害無益の化粧砂をお米と同じ値段で買うことになります

◎白米淘洗による榮養分の消失　混砂搗白米の化粧砂を除去するためには何回となく淘ぎ洗いせねばなりませぬ其淘洗により米の榮養成分が多大に消失せらるゝのであります一例として國立榮養研究所の試驗成績を示しますと

成分	未淘洗米	淘洗による消失
固形物	一〇〇、〇%	四、〇%
脂肪	一〇〇、〇%	四二、〇%
蛋白質	一〇〇、〇%	一五、七%
澱粉、糊精、糖分	一〇〇、〇%	二、〇%
灰分	一〇〇、〇%	七三、〇%
ヴィタミン	一〇〇、〇%	一〇〇、〇%

右の表に因りますと白米は淘洗することにより最も大切なる榮養分のヴィタミンは皆無となり其他脂肪、蛋白質、灰分等も多大に消失せられて居るのであります

◎混砂搗白米は消費者を盲目にする　混砂搗白米は仕上げに化粧砂で僞裝してありますからお米の品質を識別することが素人には甚だ困難であります例へますと血色のよい艶々しい素顔の美人と厚化粧した僞裝の美人?の樣なもので厚化粧した美人?がおしろいを除いた時の素顔を見て「アラッ」と驚くことがあるのと同樣です

◎混砂搗白米と無砂搗精米の榮養成分比較表　＝東京市衞生試驗所發表＝

成分＼種別	混砂搗白米	無砂搗精米
水分	一五、〇三	一四、〇九
蛋白質	六、〇八	六、七二
脂肪	〇、三一	〇、六〇
灰分	〇、二二	〇、三四
含水炭素其他	七八、三六	七八、二五

尚ほ詳細なる說明は(無砂搗精米の奬め)パンフレット御申越次第各販賣所にて無料贈呈致します是非御一讀を乞う

謹告

近時榮養學に進歩は食糧の合理化を促し殊に主食糧たる精米業者として舊套に晏如たるを得ず既に内地各都市に於ては混砂搗白米の不合理なる事を認識せられ無砂搗き精米時代に移りつゝあり現に陸海軍糧食米は混砂搗白米を廢せられ無砂搗精米又は胚芽米を用ひられつゝあり最近滋賀縣の如きは縣の警察取締令を以て混砂搗白米の販賣を禁止せられたる狀態であります弊社に於きまして も夙に是れが精米を計劃致して居りましたが滿洲米は此れに適せず從來の精米機や精米法の基に強いて無砂搗きをなすとも外觀醜きのみならず搗き減り多く商品化するに容易ならず數年間苦心研究の結果漸く此れに適應せる精米機と精米法との考案成り愈々無砂搗き精米が完成致したので(「眞珠米」と名付け)各位に提供する事は誠は光榮とする處であります希くば本品の御常食により各位の彌や増す御健康をお祈り申上ます

發賣元 **大連精糧株式會社**

電話 九九〇七九(クはナク)
五四六九(クイシロ)